

いなべ市  
地方創生総合戦略策定にかかる  
アンケート調査  
【結果報告書】

平成 27 年 9 月

いなべ市地方創生推進本部



## 【目次】

I	調査の概要	1
1	調査の目的	2
2	調査項目	2
	(1) 市民意向調査	2
	(2) 企業等調査	2
3	調査概要	3
	(1) 市民意向調査	3
	(2) 企業等調査	3
4	報告書の見方	5
II	市民意向調査（進学や就職、結婚、出産等に関する意向調査結果）	7
1	回答者の基本属性	8
2	出産・子育てについて	12
3	住宅や住環境について	16
4	結婚について	20
5	進路や就職について	23
6	今後の暮らし方について	28
7	いなべ市に対する気持ちについて	31
III	市民意向調査結果（退職後の暮らしに関する意向調査）	35
1	回答者の基本属性	36
2	退職後の暮らしについて	40
3	いなべ市に対する気持ちについて	48
IV	企業調査結果	51
1	事業所について	52
2	雇用について	54
3	職場環境について	58
4	いなべ市における企業活動について	60
5	いなべ市の今後の施策について	63
V	地域金融機関調査結果	65
1	基本事項	66
2	市内企業への支援について	66
3	移住・定住に向けた支援について	69
4	市内企業の動向について	70
5	移住・定住に向けた支援について	72
6	本市の今後の施策について	75
VI	メディア調査結果	77
1	いなべ市の魅力発信について	78



# I 調査の概要

---

# 1 調査の目的

本調査は、いなべ市に住む市民や、市内企業、金融機関、メディアを対象として、人口の現状と将来の展望を提示する「地方版人口ビジョン」、及び地域の実情に応じた今後5か年の施策の方向を提示する「地方版総合戦略」を策定する基礎資料とするため実施しました。

## 2 調査項目

### (1) 市民意向調査

#### ①進学や就職、結婚、出産等に関する意向調査（対象年齢：18歳から49歳まで）

就職や進路、結婚、出産に関する意向、住環境について、その他

#### ②退職後の暮らしに関する意向調査（対象年齢：50歳から64歳まで）

退職後の転居や定住に対する意向について、その他

### (2) 企業等調査

#### ①企業調査

市内での企業活動の状況、今後の方向性について、その他

#### ②地域金融機関調査

市内企業への支援、定住・移住促進に案する取り組みの状況、今後の方向性について、その他

#### ③メディア調査

いなべ市の発信に値する魅力、効果的な発信方法、その他

### 3 調査概要

#### (1) 市民意向調査

- 調査地域：いなべ市全域
- 調査対象者：下記の表に記載
- 調査期間：平成27年6月末まで
- 調査方法：調査票による本人記入方式  
                   郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

	調査区分	配布数	回収数	有効回収率
1	進学や就職、結婚、出産等に関する意向調査（18歳から49歳まで）	3,330	1,256	37.7%
2	退職後の暮らしに関する意向調査（50歳から64歳まで）	1,970	1,157	58.7%

#### (2) 企業等調査

- 調査地域：いなべ市全域
- 調査対象者：下記の表に記載
- 調査期間：平成27年8月末まで
- 調査方法：調査票による記入方式  
                   郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

	調査区分
企 業	住鋳潤滑剤(株) 三重事業所
	株式会社 パロマ 北勢工場
	福助工業株式会社 三重工場
	(株)神戸製鋼所 大安工場
	(株)デンソー 大安製作所
	日本インシュレーション株式会社
	三井住友金属鋳山伸銅株式会社 三重事業所
	あづま食品(株) 三重工場
	株式会社 中立製作所
	太平洋セメント株式会社 藤原工場
	三重精機(株) 大安工場

	伸和精工株式会社
	(株)アクティオ 三重いなベテクノパーク統括工場
	株式会社 三五三重
	(株)ユニマック
地域金融機関	東海労働金庫桑名支店
	株式会社 百五銀行員弁支店
	桑名信用金庫
	株式会社 中京銀行
	大垣共立銀行桑名支店
	三重北農業協同組合石樽支店
	株式会社 第三銀行
メディア	株式会社 シー・ティー・ワイ
	特定非営利活動法人 いなべ市文化協会

## 4 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析分、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対してそれぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- グラフ中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- グラフ中の「N」とは、Number of Cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表しています。
- 「SA (single answer)」は単数回答、「MA (multiple answer)」は複数回答、「NA (number answer)」は数量回答を示しています。
- 自由記述については、似た回答を内容ごとで分類し、件数を示しています。
- 市民意向調査結果におけるグラフ内の数値は、パーセントを表しており、単位は省略しています。企業等調査においては、母数が少ないため、パーセントではなく件数で集計しており、単位は省略しています。



## Ⅱ 市民意向調査

---

(進学や就職、結婚、出産等に関する意向調査結果)

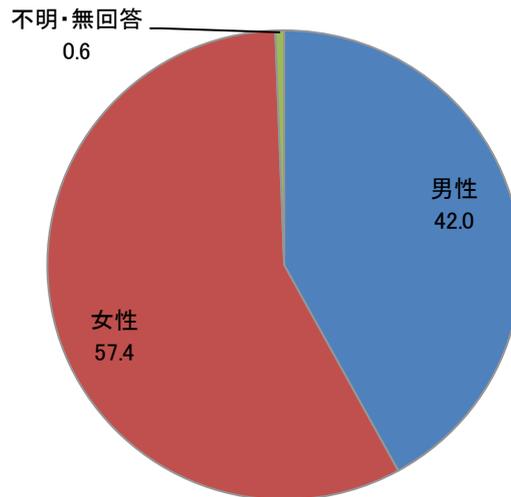
# 1 回答者の基本属性

問1 あなたの性別は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

「男性」が42.0%、「女性」が57.4%となっています。

【SA】

(N=1,256)

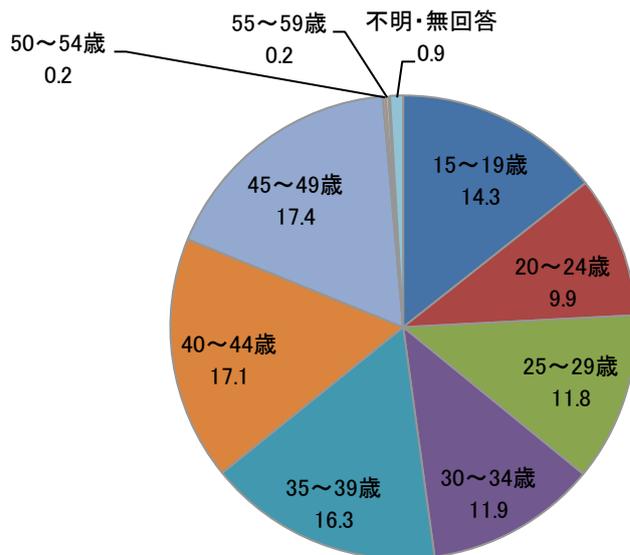


問2 あなたの年齢を教えてください。(平成27年6月1日現在)(数字を記入)

「45～49歳」が17.4%で最も高くなっています。次いで、「40～44歳」が17.1%、「35～39歳」が16.3%となっています。

【NA】

(N=1,256)

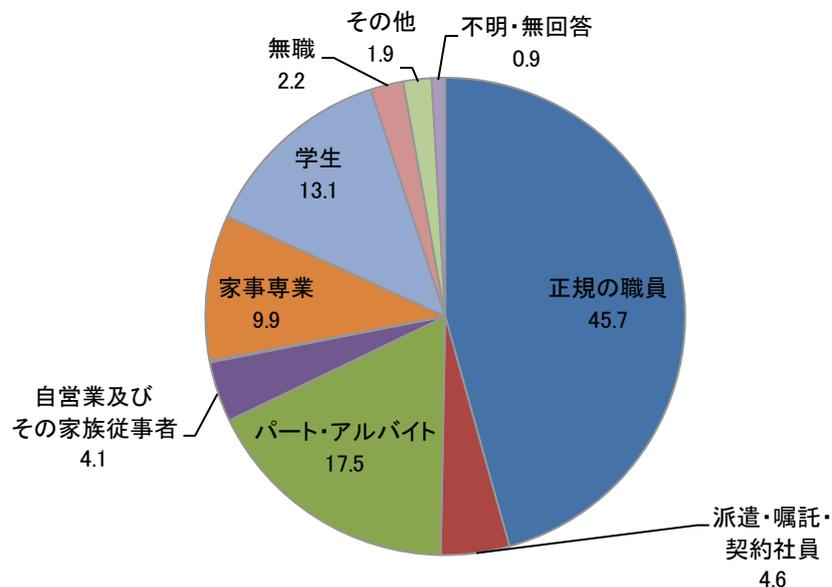


問3 あなたの現在のおつとめの状況は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

「正規の職員」が45.7%で最も高くなっています。次いで、「パート・アルバイト」が17.5%、「学生」が13.1%となっています。

【SA】

(N=1,256)

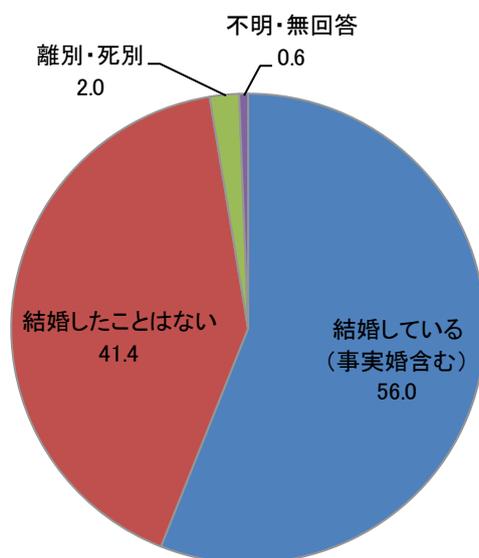


問4 あなたは結婚していますか。(1つに○)

「結婚している (事実婚含む)」が56.0%で最も高くなっています。次いで「結婚したことはない」が41.4%となっています。

【SA】

(N=1,256)

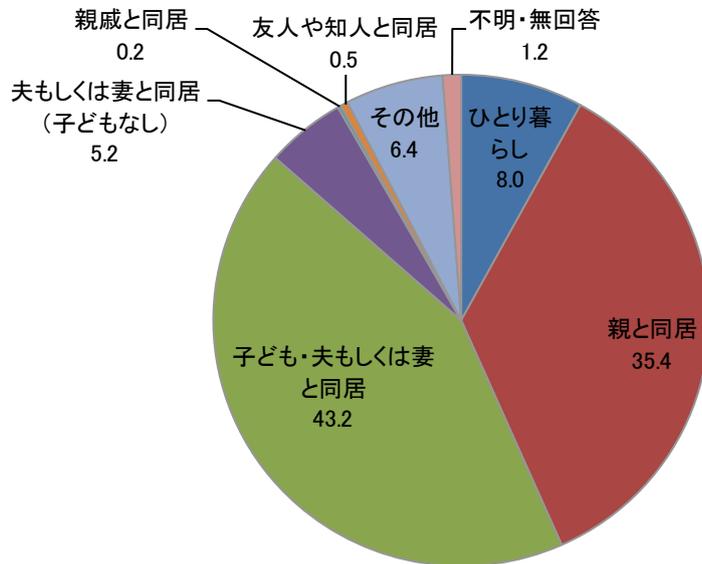


問5 あなたと一緒に住まわれている方は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

「子ども・夫もしくは妻と同居」が43.2%で最も高くなっています。次いで、「親と同居」が35.4%、「ひとり暮らし」が8.0%となっています。

【SA】

(N=1,256)

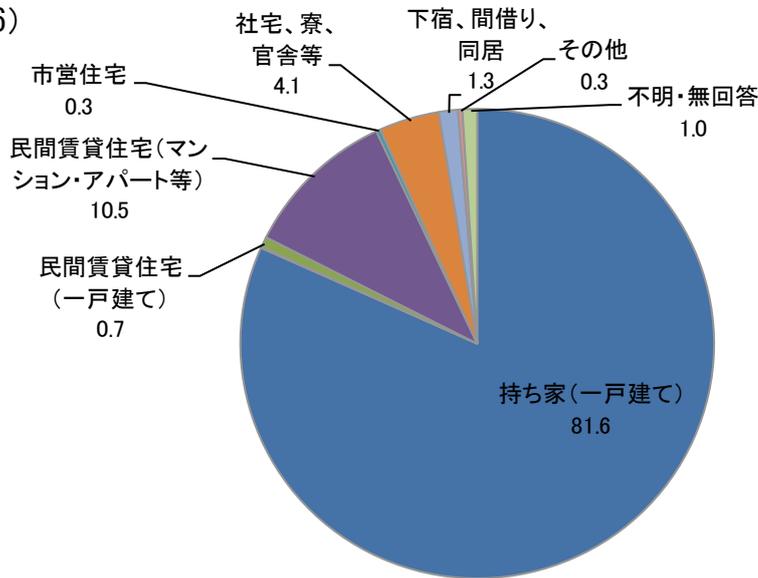


**問6 あなたのお住まいの住宅の形態は次のどれにあてはまりますか。(1つに○)**

「持ち家(一戸建て)」が81.6%で最も高くなっています。次いで、「民間賃貸住宅(マンション・アパート等)」が10.5%、「社宅、寮、官舎等」が4.1%となっています。

【SA】

(N=1,256)

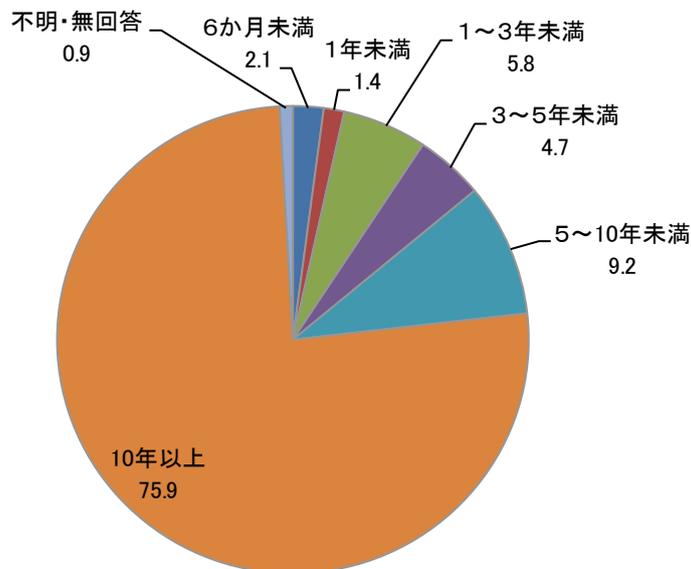


**問7 あなたはいなべ市にお住まいになられて何年になりますか。(1つに○)**

「10年以上」が75.9%で最も高くなっています。次いで、「5～10年未満」が9.2%、「1～3年未満」が5.8%となっています。

【SA】

(N=1,256)



## 2 出産・子育てについて

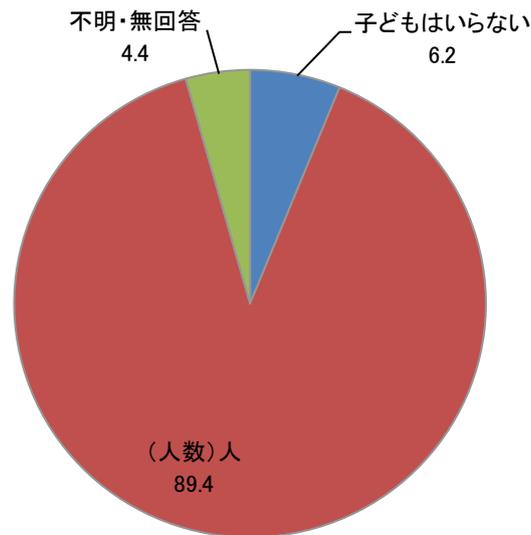
問8 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。(1つに〇、「2」の方は数字を記入)

「(人数)人」が89.4%、「子どもはいらない」が6.2%で、「(人数)人」の割合の方が高くなっています。

理想的な子どもの人数について、「2人」が60.4%、「3人」が32.0%となっています。

【SA】

(N=1,256)

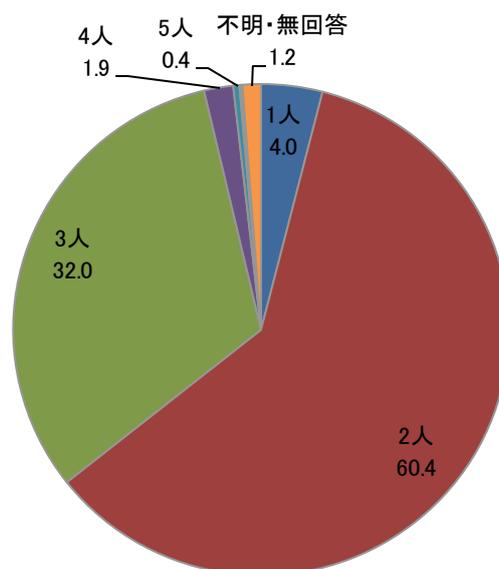


※問8で「2. (人数)人」を選んだ方

◆子どもの人数

【NA】

(N=1,123)

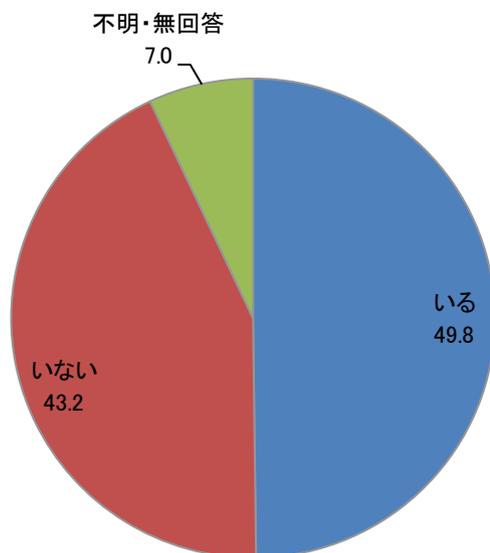


問9 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。現在妊娠中のお子さんは含めずお答えください。(1つに○、「1」の方は数字を記入)

「いる」が49.8%、「いない」が43.2%で、「いる」の割合の方が高くなっています。現在の子ども的人数について、「2人」が49.2%、「1人」が23.0%となっています。

【SA】

(N=1,256)

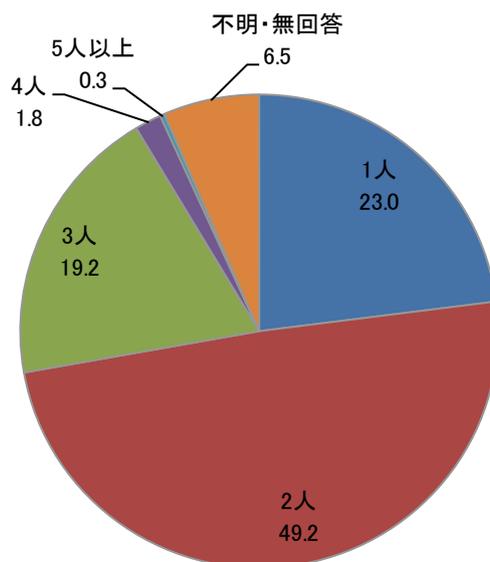


※問9で「1. いる」を選んだ方

◆子ども的人数

【NA】

(N=626)



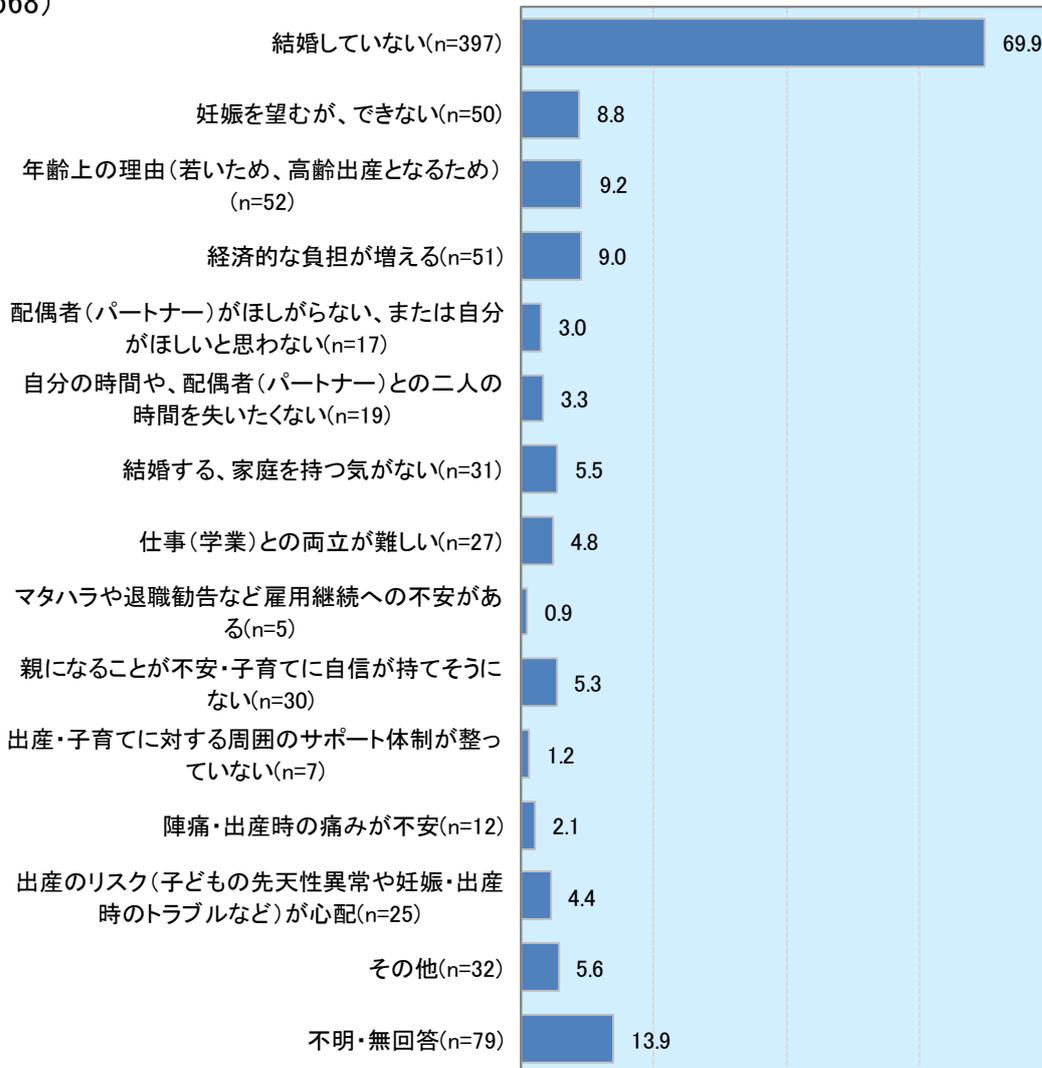
※問8で「1. 子どもはいない」、問9で「2. いない」を選んだ方におうかがいします。

問9-1 子どもがいない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「結婚していない」が69.9%で最も高くなっています。次いで、「年齢上の理由(若い  
ため、高齢出産となるため)」が9.2%、「経済的な負担が増える」が9.0%となっていま  
す。

【MA】

(N=568)



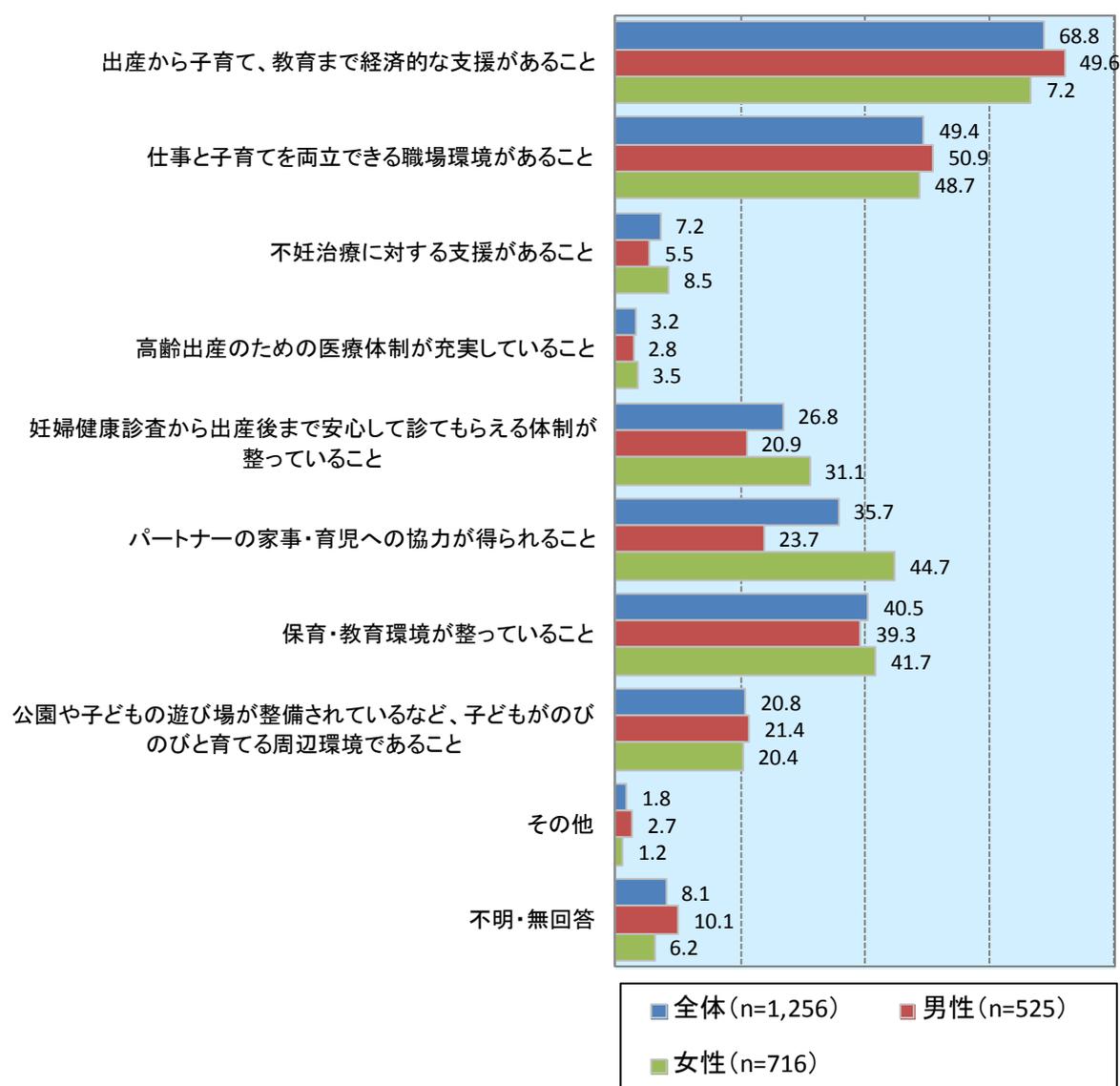
## 問 10 子どもを産むために必要な条件は何ですか。(3つまで〇)

「出産から子育て、教育まで経済的な支援があること」が 68.6%で最も高くなっています。次いで、「仕事と子育てを両立できる職場環境があること」が 49.4%、「保育・教育環境が整っていること」が 40.5%となっています。

男女別にみると、「パートナーの家事・育児への協力が得られること」で女性が男性を 21.0 ポイント上回っており、男女差がみられます。

【MA】

(N=1,256)



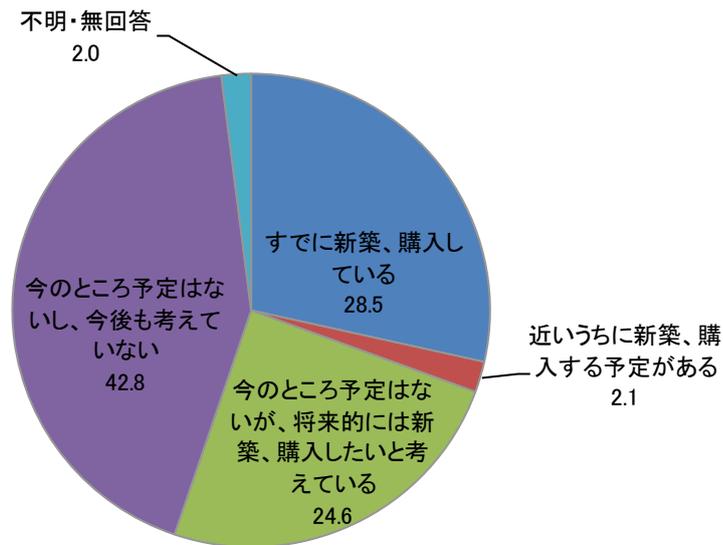
### 3 住宅や住環境について

問 11 あなたは、今後住宅を新築、購入する予定はありますか。(1つに○)

「今のところ予定はないし、今後も考えていない」が 42.8%で最も高くなっています。次いで、「すでに新築、購入している」が 28.5%、「今のところ予定はないが、将来的には新築、購入したいと考えている」が 24.6%となっています。

【SA】

(N=1,256)



※問 11 で「1. すでに新築、購入している」～「3. 今のところ予定はないが、将来的には新築、購入したいと考えている」を選んだ方におうかがいします。

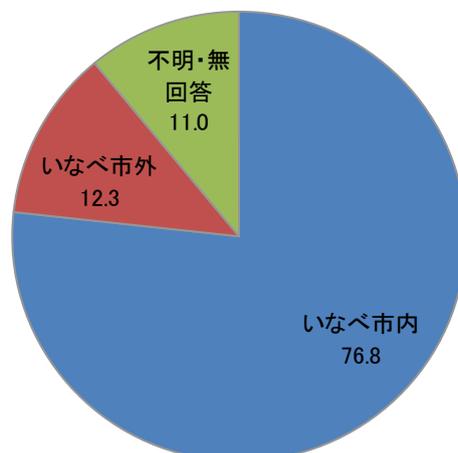
問 11-1 住宅を新築、購入した、あるいはしたいと考えているのはいなべ市内ですか。(1つに○、「2」の方は都道府県と市町村を記入)

「いなべ市内」が 76.8%、「いなべ市外」が 12.3%で、「いなべ市内」の割合の方が高くなっています。

市外の人希望地域は、「桑名市」が 25.4%で最も高くなっています。

【SA】

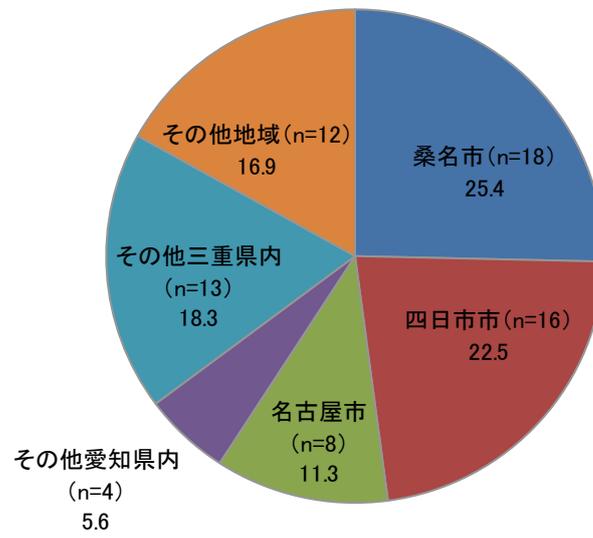
(N=693)



※問 11-1 で「いなべ市外」を選んだ方

◆希望地域

(N=71)



※問11で「1. すでに新築、購入している」～「3. 今のところ予定はないが、将来的には新築、購入したいと考えている」を選んだ方におうかがいします。

問11-2 住宅を新築、購入するにあたり、重視する(した)のはどのような点ですか。  
(3つまで○)

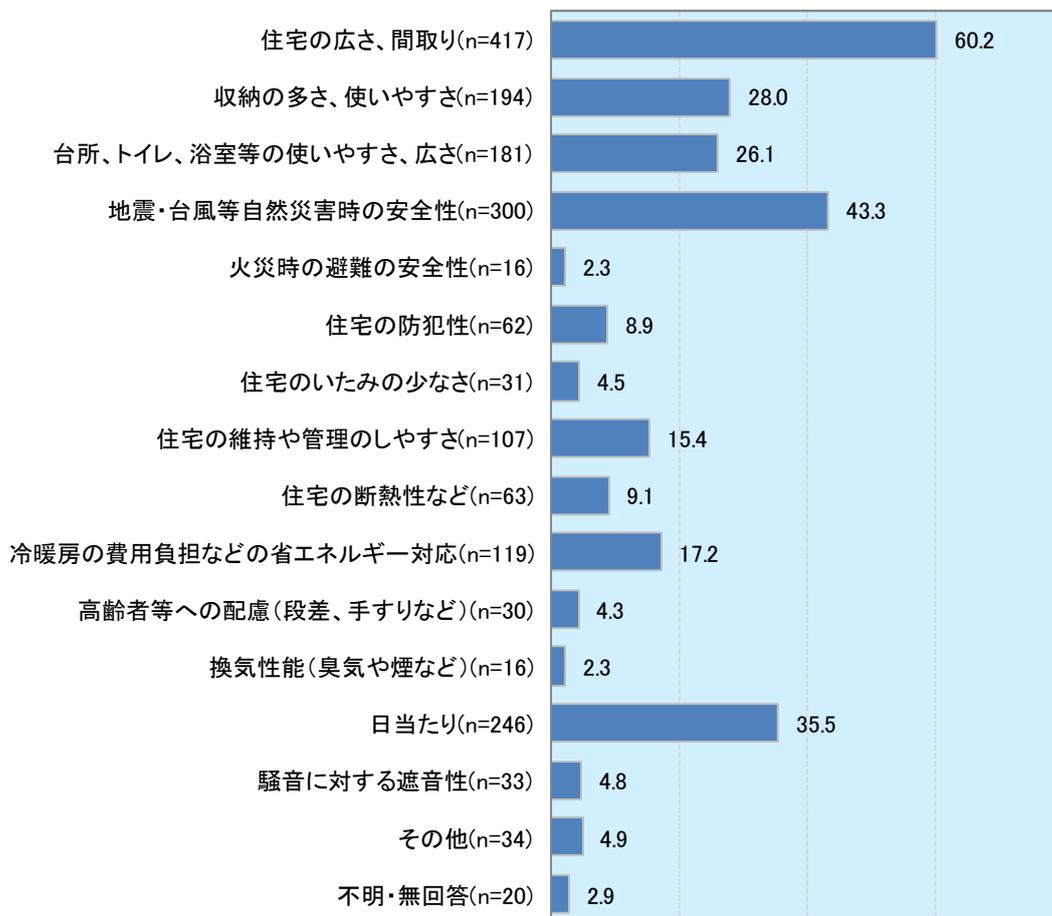
住宅の内容については、「住宅の広さ、間取り」が60.2%で最も高くなっています。次いで、「地震・台風等自然災害時の安全性」が43.3%、「日当たり」が35.5%となっています。

住宅の周辺環境については、「通勤・通学などの利便性」が33.5%で最も高くなっています。次いで、「火災・地震・水害などに対する安全」が32.5%、「親や親戚の住宅との距離」が27.0%となっています。

### 住宅の内容

【MA】

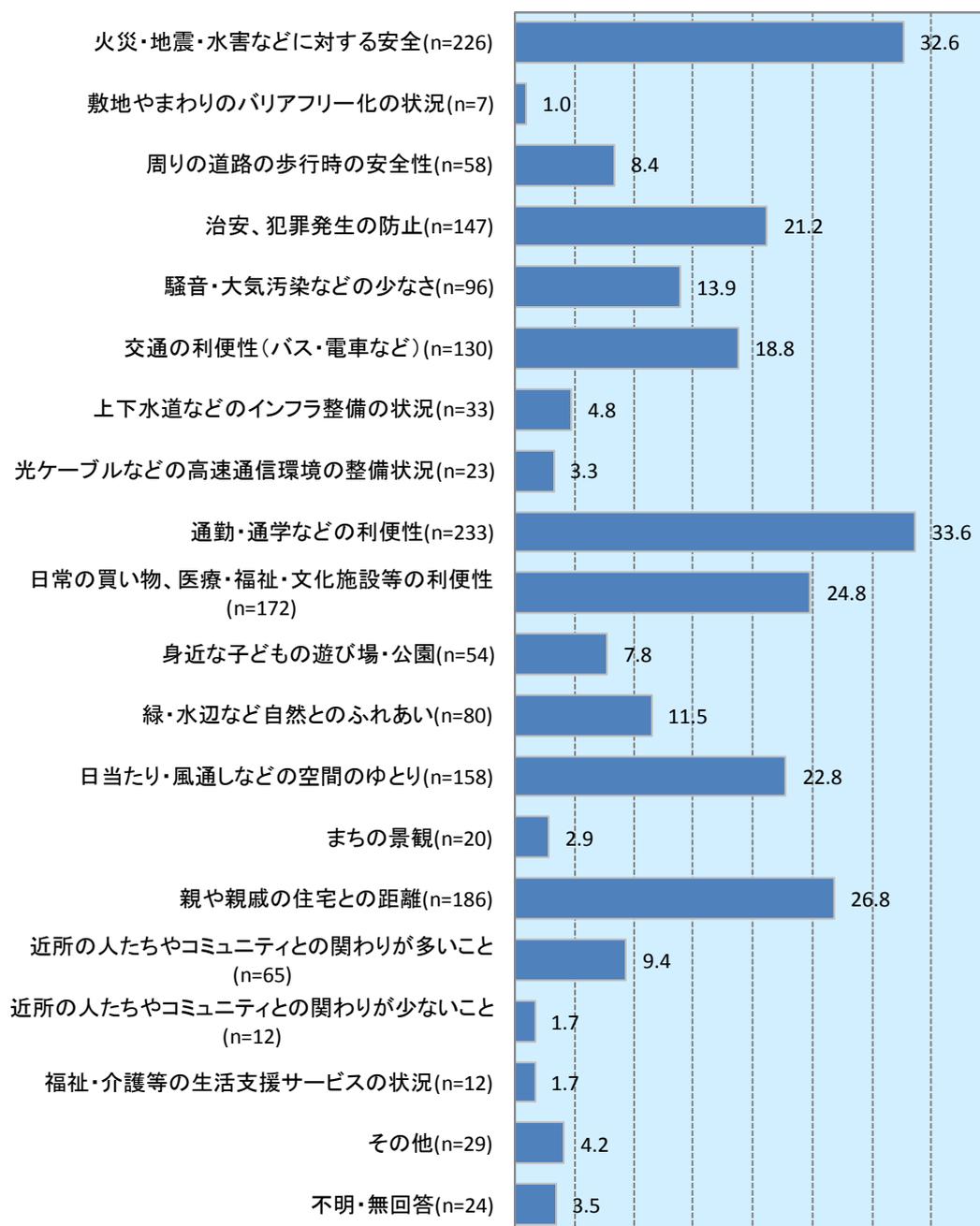
(N=693)



## 住宅の周辺環境

【MA】

(N=693)



## 4 結婚について

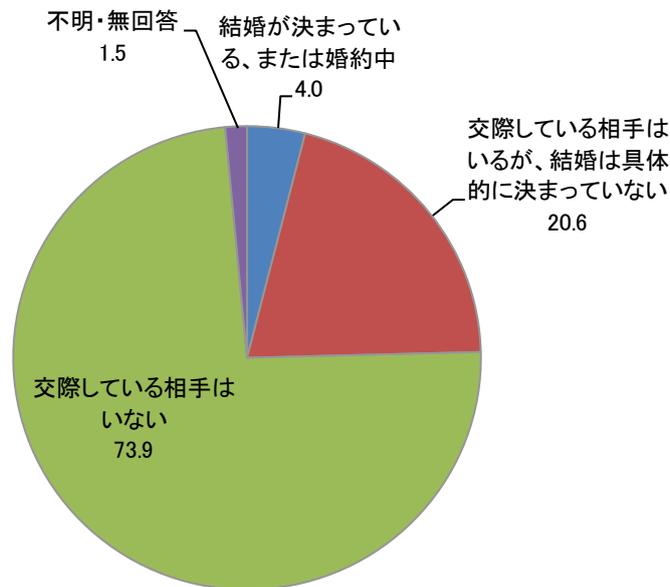
問 12～問 13- 2 は、独身の方のみへの設問です。

問 12 あなたには、現在交際している人はいますか。(1つに○)

「交際している相手はいない」が 73.9%で最も高くなっています。次いで、「交際している相手はいるが、結婚は具体的に決まっていない」が 20.6%、「結婚が決まっている、または婚約中」が 4.0%となっています。

【SA】

(N=545)

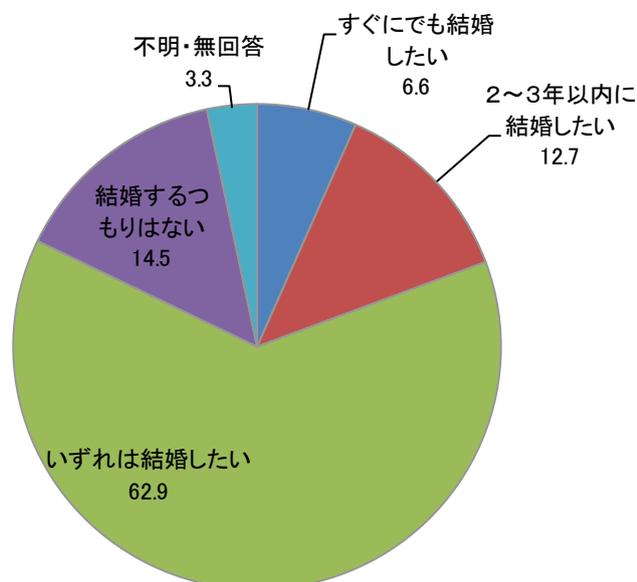


問 13 あなたは、将来結婚したいですか。(1つに○)

「いずれは結婚したい」が 62.9%で最も高くなっています。次いで、「結婚するつもりはない」が 14.5%、「2～3年以内に結婚したい」が 12.7%となっています。

【SA】

(N=545)



※問13で「1. すぐにでも結婚したい」～「3. いずれは結婚したい」を選んだ方にお  
うかがいします。

問13-1 あなたが結婚したい理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「家庭を持ちたいから」が71.9%で最も高くなっています。次いで、「子どもがほしい  
から」が54.9%、「両親や親戚を安心させたいから」が38.8%となっています。

【MA】

(N=448)



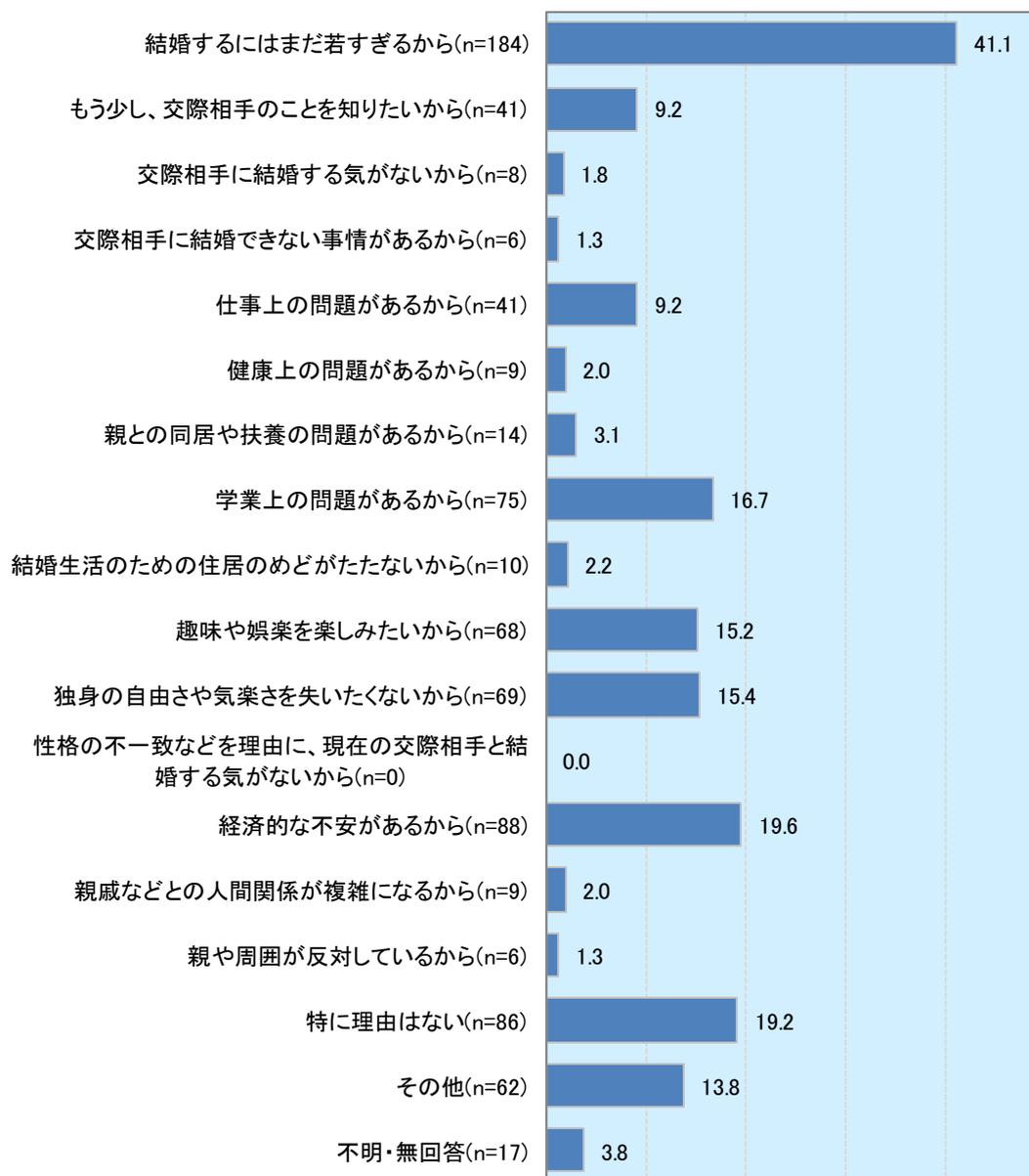
※問13で「1. すぐにでも結婚したい」～「3. いずれは結婚したい」を選んだ方にお  
うかがいします。

問13-2 あなたが現在結婚していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「結婚するにはまだ若すぎるから」が41.1%で最も高くなっています。次いで、「経済  
的な不安があるから」が19.6%、「特に理由はない」が19.2%となっています。

【MA】

(N=448)



## 5 進路や就職について

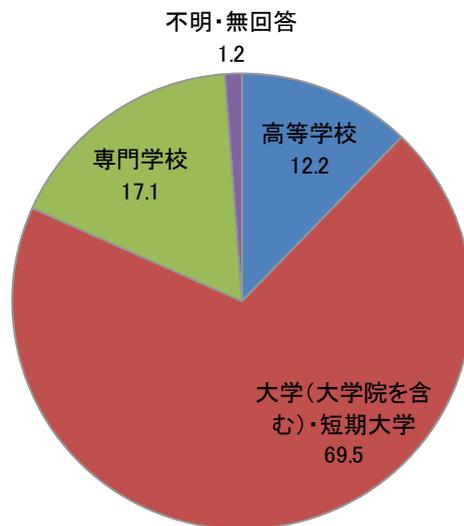
問 14～問 17－4 は、学生の方のみへの設問です。

問 14 あなたは、現在どちらに通学されていますか。(平成 27 年 6 月 1 日現在) (1 つに〇)

「大学 (大学院を含む)・短期大学」が 69.5%で最も高くなっています。次いで、「専門学校」が 17.1%、「高等学校」が 12.2%となっています。

【SA】

(N=164)

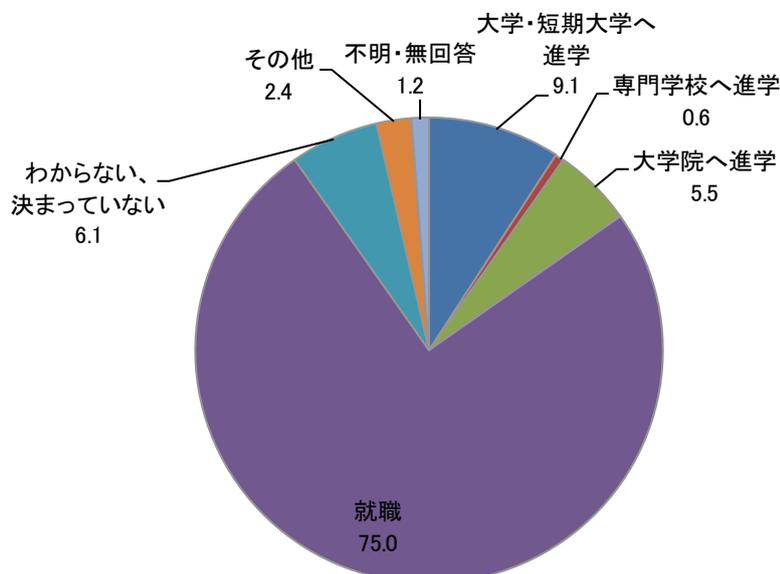


問 15 現在通学されているところを卒業後に、どのような進路を希望しますか。(1 つに〇)

「就職」が 75.0%で最も高くなっています。次いで、「大学・短期大学へ進学」が 9.1%、「わからない、決まっていない」が 6.1%となっています。

【SA】

(N=164)

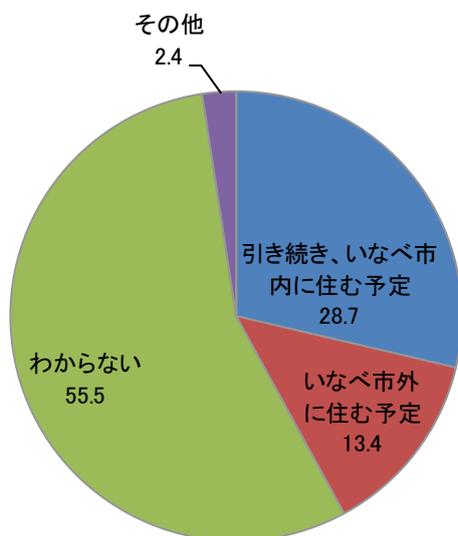


問 16 現在通学されているところを卒業後に、どちらにお住まいになる予定ですか。  
(1つに○)

「わからない」が55.5%で最も高くなっています。次いで、「引き続き、いなべ市内に住む予定」が28.7%、「いなべ市外に住む予定」が13.4%となっています。

【SA】

(N=164)

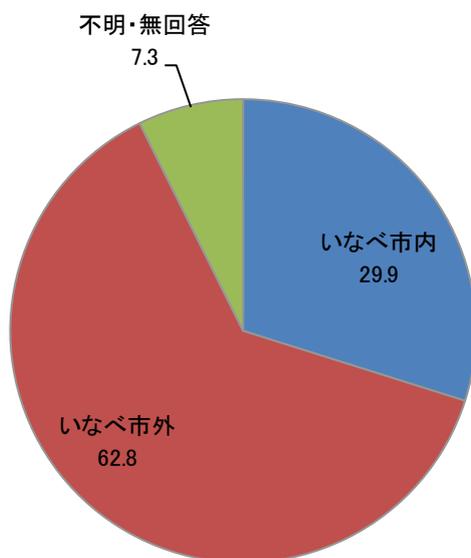


問 17 あなたは、どこで就職することを希望していますか (するつもりですか)。  
(1つに○)

「いなべ市外」が62.8%、「いなべ市内」が29.9%で、「いなべ市外」の割合の方が高くなっています。

【SA】

(N=164)



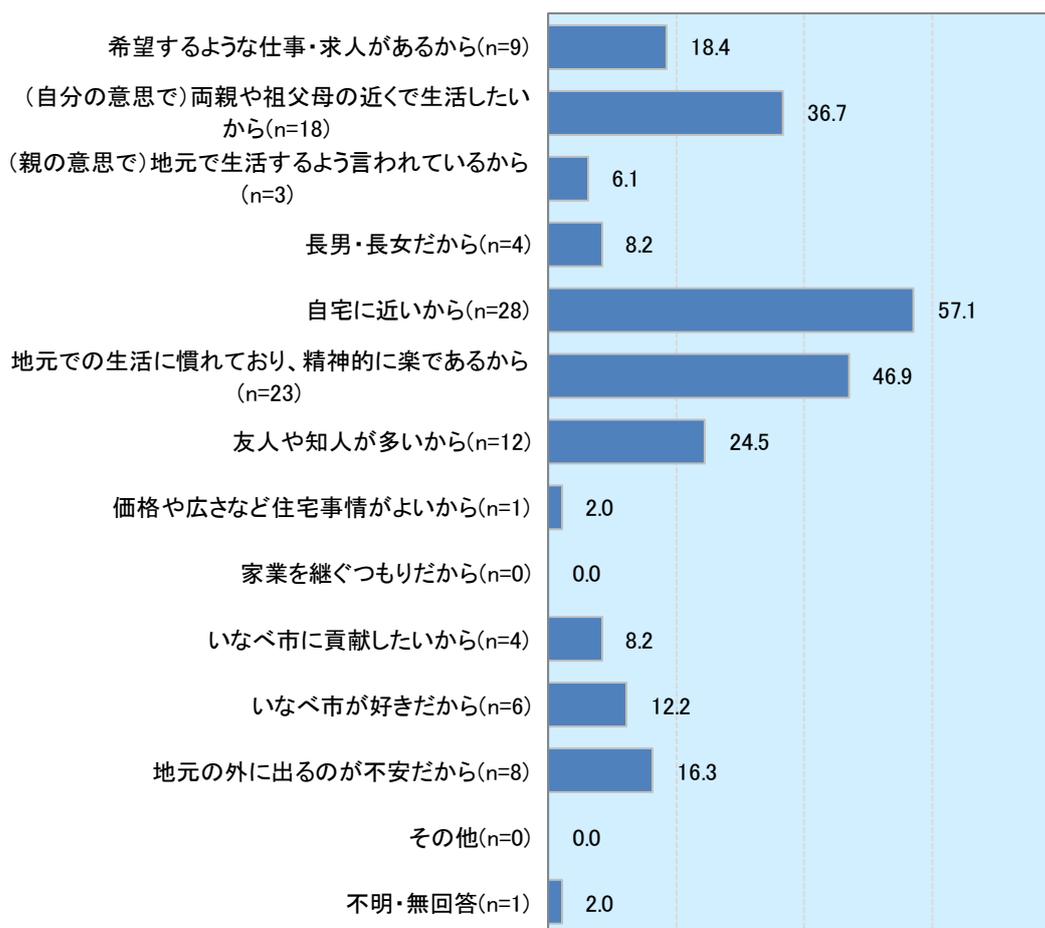
※問 17 で「1. いなべ市内」を選んだ方におうかがいします。

問 17-1 いなべ市で就職したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自宅に近いから」が 57.1%で最も高くなっています。次いで、「地元での生活に慣れており、精神的に楽であるから」が 46.9%、「(自分の意思で) 両親や祖父母の近くで生活したいから」が 36.7%となっています。

【MA】

(N=49)



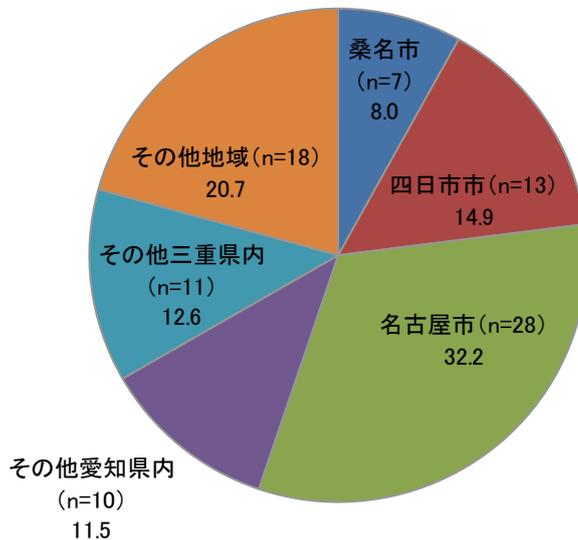
※問 17 で「2. いなべ市外」を選んだ方におうかがいします。

問 17-2 いなべ市外で就職したい場所はどこですか。(都道府県と市町村を記入)

「名古屋市」が 32.2% で最も高くなっています。次いで、「四日市市」が 14.9% となっています。

【MA】

(N=87)

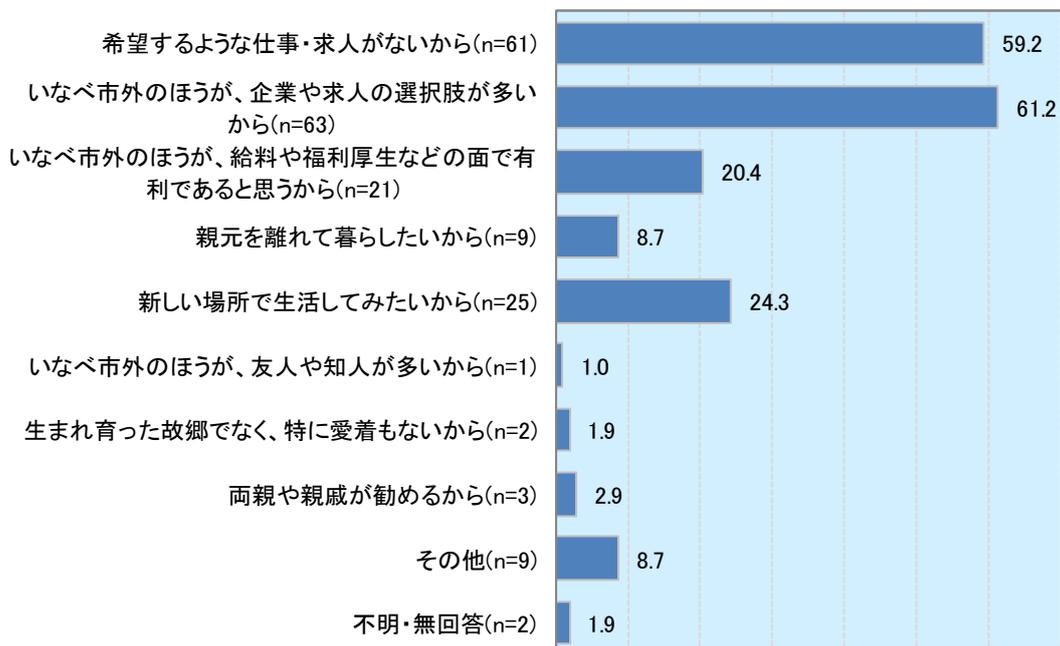


問 17-3 いなべ市外で就職したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「いなべ市外のほうが、企業や求人の選択肢が多いから」が 61.2% で最も高くなっています。次いで、「希望するような仕事・求人がないから」が 59.2%、「新しい場所で生活してみたいから」が 24.3% となっています。

【MA】

(N=103)



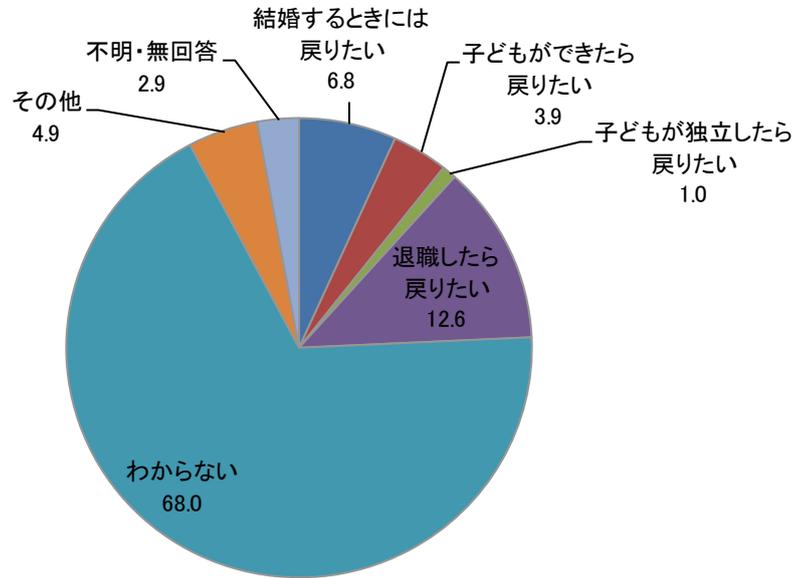
※問 17 で「2. いなべ市外」を選んだ方におうかがいします。

問 17-4 将来、いなべ市に戻ってきたいと思いませんか。(1つに○)

「わからない」が 68.0%で最も高くなっています。次いで、「退職したら戻りたい」が 12.6%、「結婚するときには戻りたい」が 6.8%となっています。

【SA】

(N=103)



## 6 今後の暮らし方について

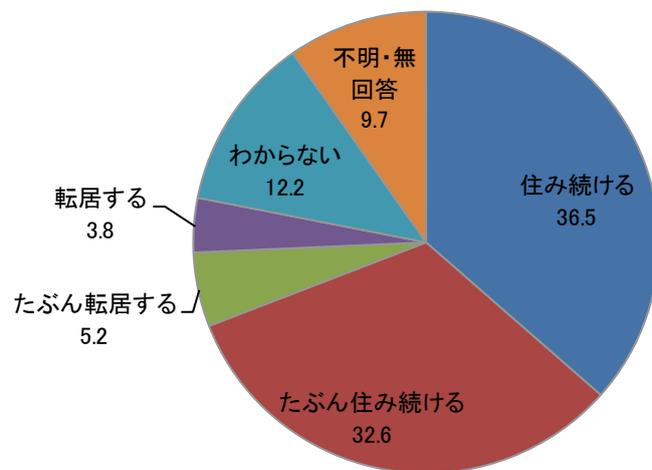
問 18～問 18-3 は、学生以外の方のみへの設問です。

問 18 あなたは、これからもずっといなべ市に住み続ける予定ですか。(1つに○)

「住み続ける」が 36.5%で最も高くなっています。次いで、「たぶん住み続ける」が 32.6%、「わからない」が 12.2%となっています。

【SA】

(N=1,081)



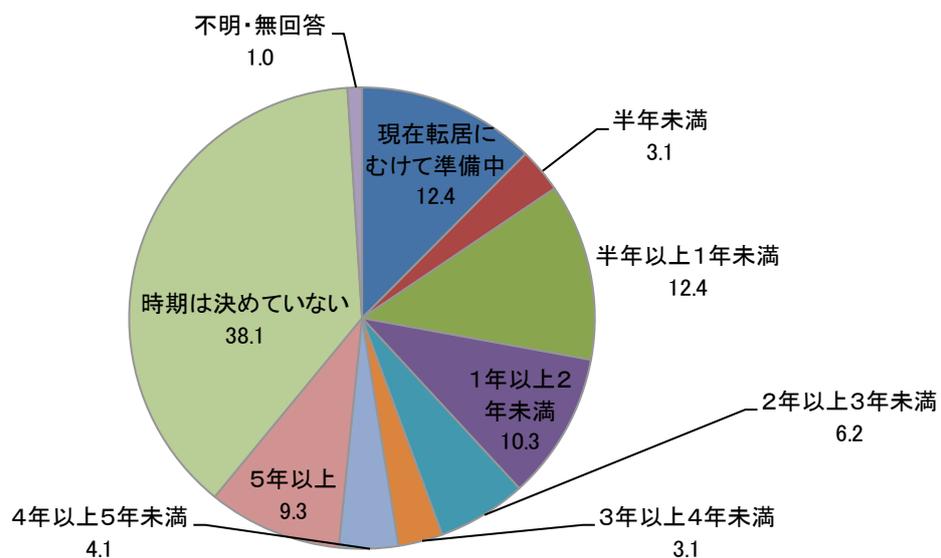
※問 18 で「3. たぶん転居する」もしくは「4. 転居する」を選んだ方におうかがいします。

問 18-1 それは何年後を考えていますか。(1つに○)

「時期は決めていない」が 38.1%で最も高くなっています。次いで、「現在転居にむけて準備中」が 12.4%、「半年以上1年未満」が 12.4%となっています。

【SA】

(N=97)



※問 18 で「3. たぶん転居する」もしくは「4. 転居する」を選んだ方におうかがいします。

問 18-2 いなべ市から転居したいと思ったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「結婚をするため」が 27.8%で最も高くなっています。次いで、「転勤や転職の予定があるため」が 23.7%、「親から独立をするため」が 16.5%となっています。

【MA】

(N=97)



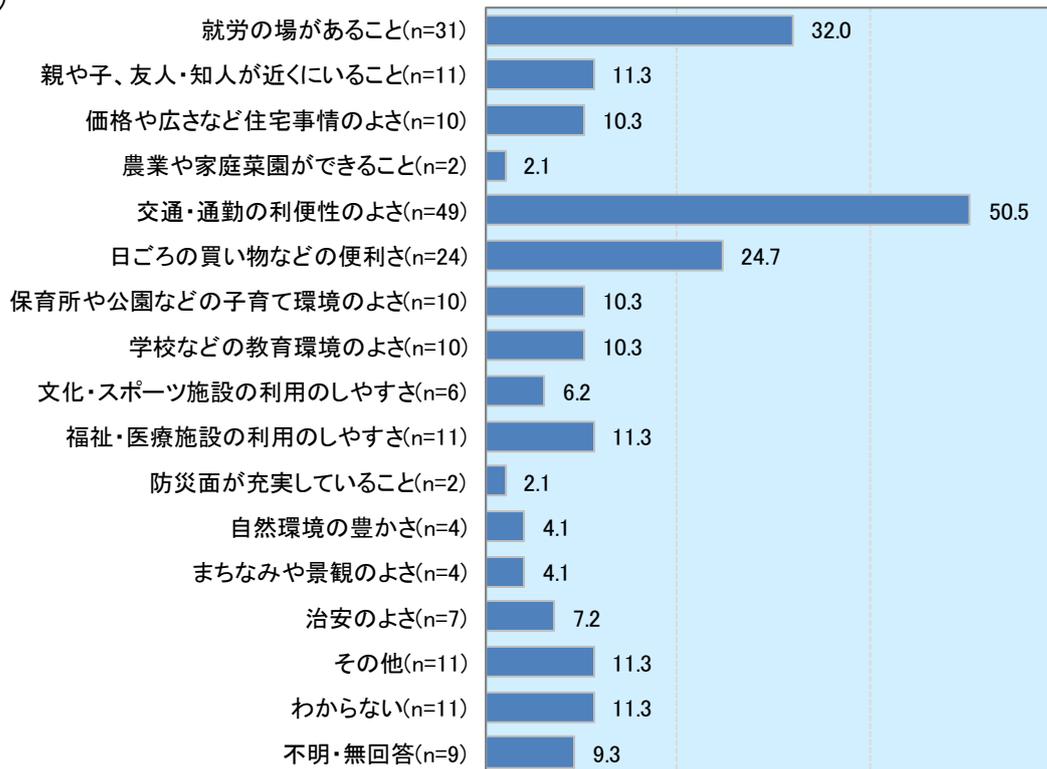
※問18で「3. たぶん転居する」もしくは「4. 転居する」を選んだ方におうかがいします。

問18-3 どのような条件が整えばこれからもいなべ市に住み続けたいですか。  
(3つまで○)

「交通・通勤の利便性のよさ」が50.5%で最も高くなっています。次いで、「就労の場があること」が32.0%、「日ごろの買い物などの便利さ」が24.7%となっています。

【MA】

(N=97)



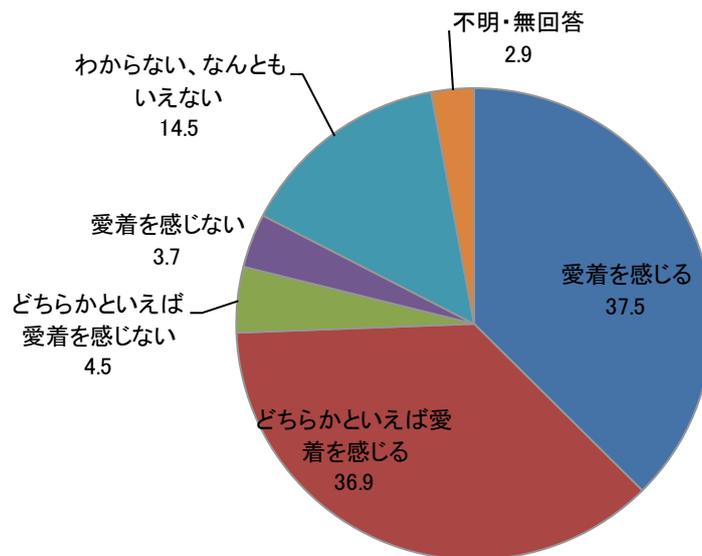
## 7 いなべ市に対する気持ちについて

問 19 あなたは、いなべ市に愛着を感じていますか。(1つに○)

「愛着を感じる」と「どちらかといえば愛着を感じる」を合わせた『愛着を感じる』が74.4%、「どちらかといえば愛着を感じない」と「愛着を感じない」を合わせた『愛着を感じない』が8.2%で、『愛着を感じる』の割合の方が高くなっています。

【SA】

(N=1,256)



※問 19 で「1. 愛着を感じる」もしくは「2. どちらかといえば愛着を感じる」を選んだ方におうかがいします。

問 19-1 愛着を感じる理由は何ですか。(3つまで○)

「生まれ育ったふるさとであるため」が 65.6%で最も高くなっています。次いで、「自然に恵まれているため」が 44.2%、「親、兄弟、親戚がいるため」が 42.2%となっています。

【MA】

(N=934)

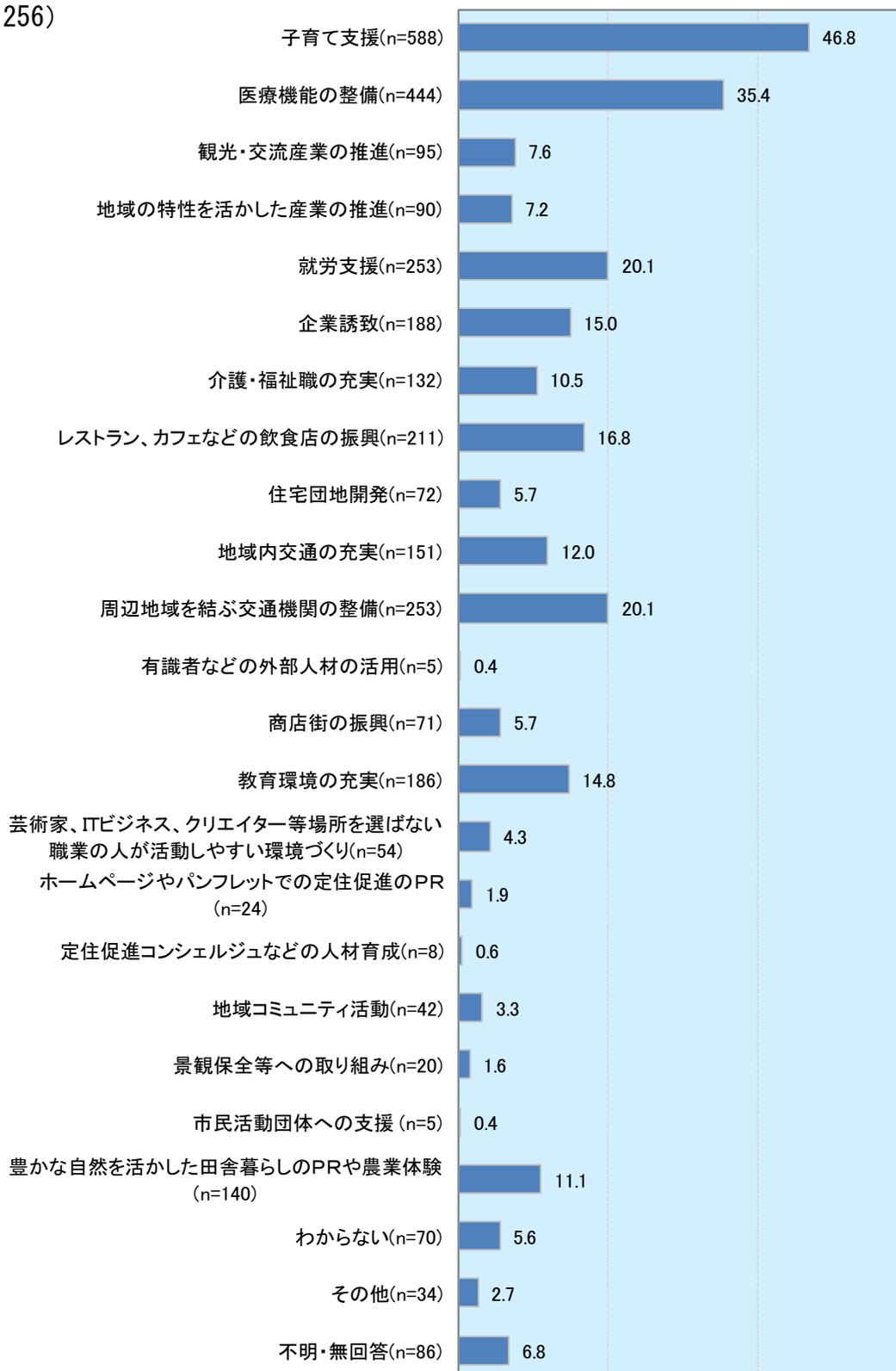


問 20 いなべ市への定住や移住を促進するための取り組みとして効果があると思うものは何ですか。(3つまで○)

「子育て支援」が46.8%で最も高くなっています。次いで、「医療機能の整備」が35.4%、「就労支援」と「周辺地域を結ぶ交通機関の整備」がそれぞれ20.1%となっています。

【MA】

(N=1,256)





## Ⅲ 市民意向調査結果

---

(退職後の暮らしに関する意向調査)

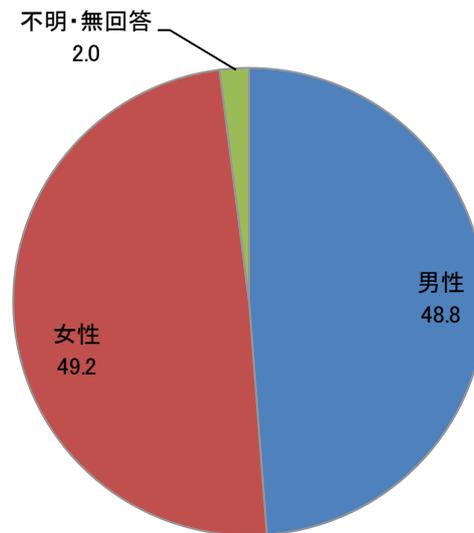
# 1 回答者の基本属性

問1 あなたの性別は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

「男性」が48.8%、「女性」が49.2%となっています。

【SA】

(N=1,157)

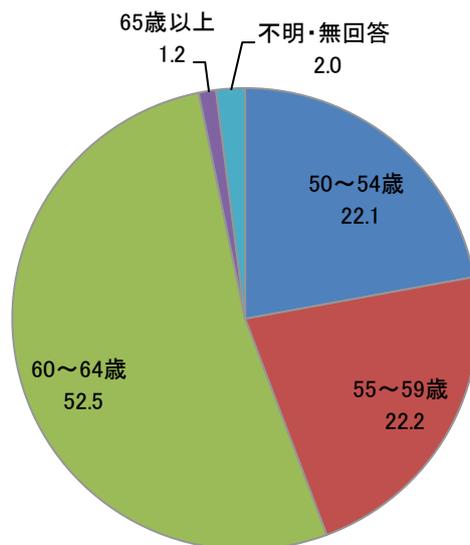


問2 あなたの年齢を教えてください。(平成27年6月1日現在)(数字を記入)

「60～64歳」が52.5%で最も高くなっています。次いで、「55～59歳」が22.2%、「50～54歳」が22.1%となっています。

【NA】

(N=1,157)

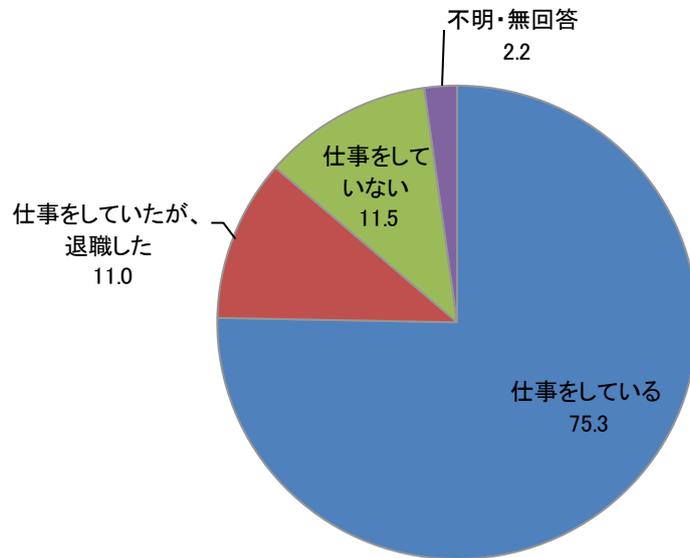


問3 あなたは現在仕事をしていますか。(1つに○)

「仕事をしている」が75.3%、「仕事をしていない」が11.5%、「仕事をしていましたが、退職した」が11.0%となっています。

【SA】

(N=1,157)

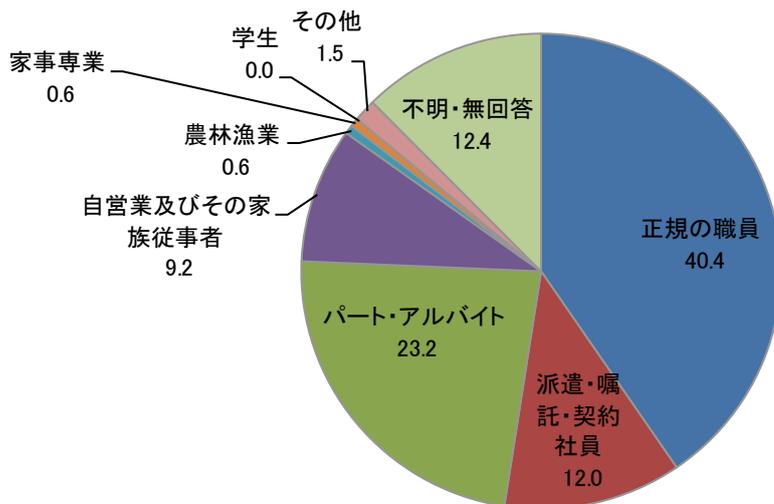


問4 あなたの現在のおつとめ(退職後の方は、以前のおつとめ)の状況は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

「正規の職員」が40.4%で最も高くなっています。次いで、「パート・アルバイト」が23.2%、「派遣・嘱託・契約社員」が12.0%となっています。

【SA】

(N=1,157)

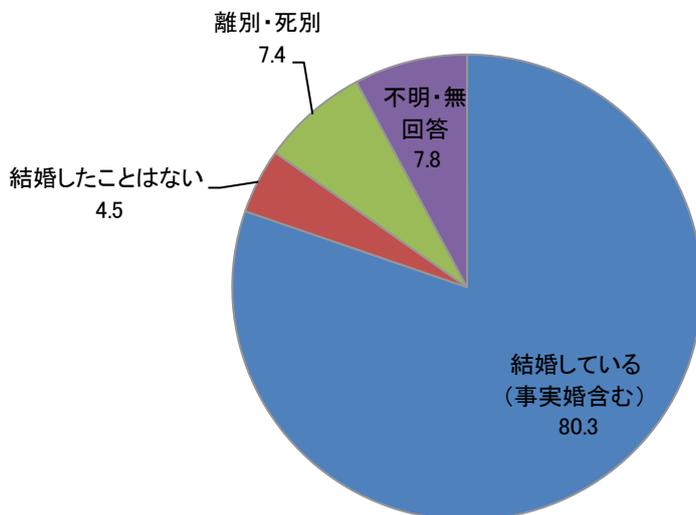


**問5 あなたは結婚していますか。(1つに○)**

「結婚している (事実婚含む)」が 80.3% 「離別・死別」が 7.4%、「結婚したことはない」が 4.5%となっています。

【SA】

(N=1, 157)

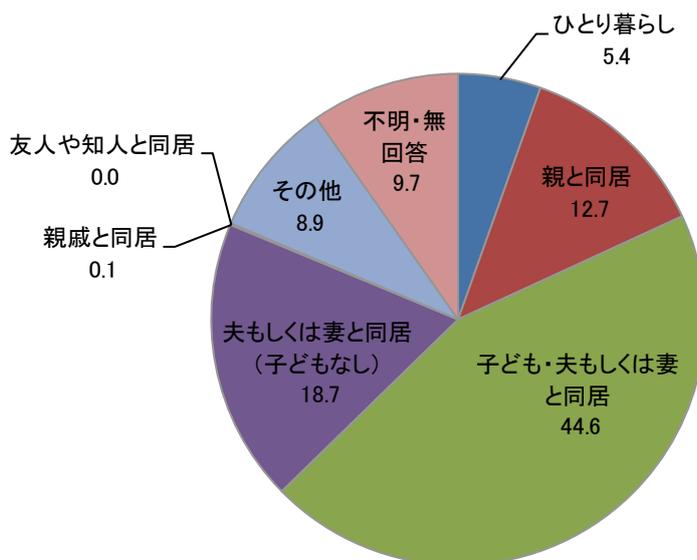


**問6 あなたと一緒に住まわれている方は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)**

「子ども・夫もしくは妻と同居」が 44.6%で最も高くなっています。次いで、「夫もしくは妻と同居 (子どもなし)」が 18.7%、「親と同居」が 12.7%となっています。

【SA】

(N=1, 157)

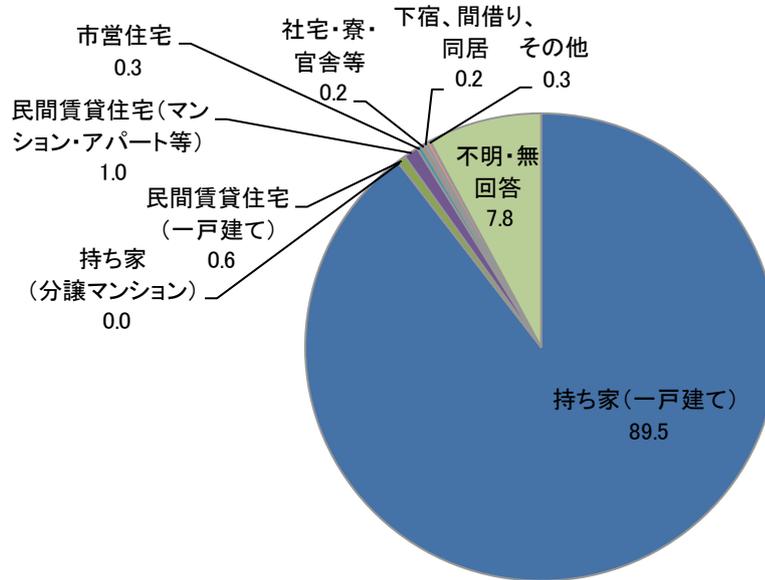


問7 あなたのお住まいの住宅の形態は次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

「持ち家(一戸建て)」が89.5%で最も高くなっています。次いで、「民間賃貸住宅(マンション・アパート等)」が1.0%となっています。

【SA】

(N=1,157)

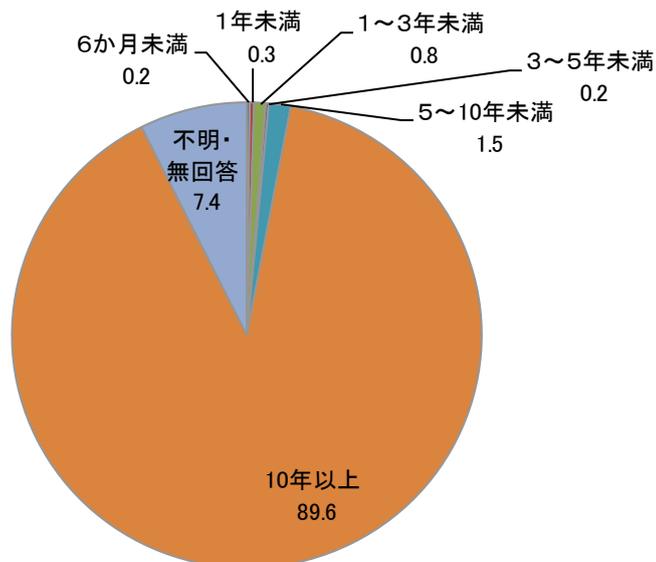


問8 あなたはいなべ市にお住まいになられて何年になりますか。(1つに○)

「10年以上」が89.6%で最も高くなっています。次いで、「5～10年未満」が1.5%、「1～3年未満」が0.8%となっています。

【SA】

(N=1,157)



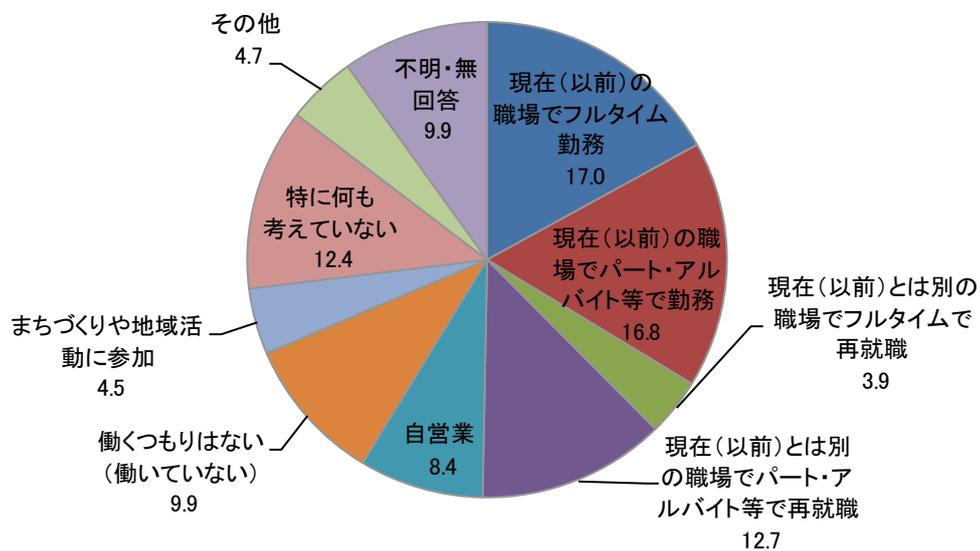
## 2 退職後の暮らしについて

問9 あなたは、退職後、どのように過ごしたいとお考えですか。既に退職されている場合は、現在の過ごし方についてお答えください。(1つに○)

「現在(以前)の職場でフルタイム勤務」が17.0%「現在(以前)の職場でパート・アルバイト等で勤務」が16.8%、「現在(以前)とは別の職場でパート・アルバイト等で再就職」が12.7%となっています。

【SA】

(N=1,157)



問 10 あなたは、退職後の親や子どもとの居住関係についてどのようにお考えですか。  
既に退職されている場合は、現在の居住関係についてお答えください。  
(それぞれ1つに○)

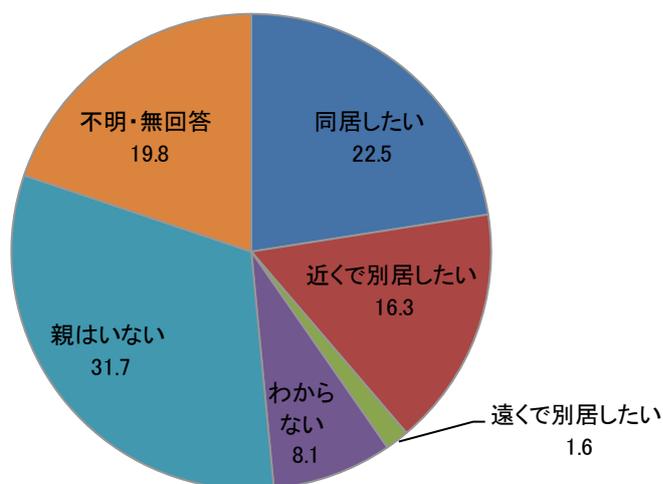
親との居住関係について、「親はいない」が31.7%で最も高くなっています。次いで、「同居したい」が22.5%、「近くで別居したい」が16.3%となっています。

子どもとの居住関係について、「近くで別居したい」が41.7%で最も高くなっています。次いで、「同居したい」が20.4%、「わからない」が13.7%となっています。

◆親との居住関係

【SA】

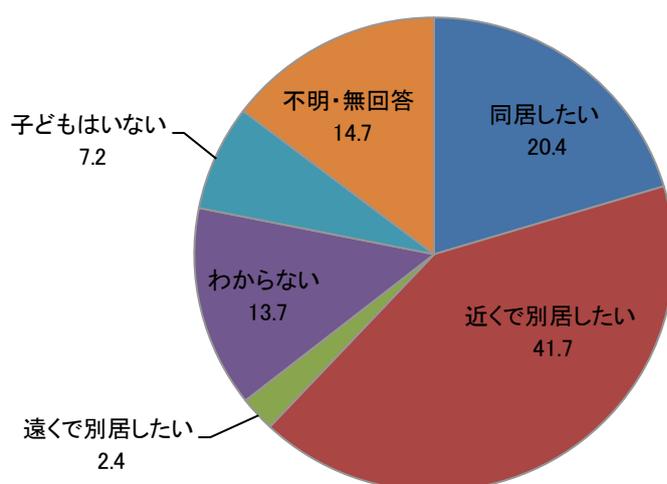
(N=1,157)



◆子どもとの居住関係

【SA】

(N=1,157)



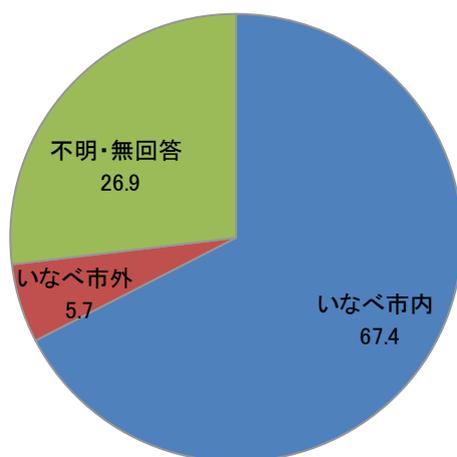
問 11～問 11－5 は、仕事をしている方のみへの設問です。

問 11 あなたは、退職後、どこで暮らしたいですか。(1つに○)

「いなべ市内」が 67.4%、「いなべ市外」が 5.7%で、「いなべ市内」の割合の方が高くなっています。

【SA】

(N=1,157)



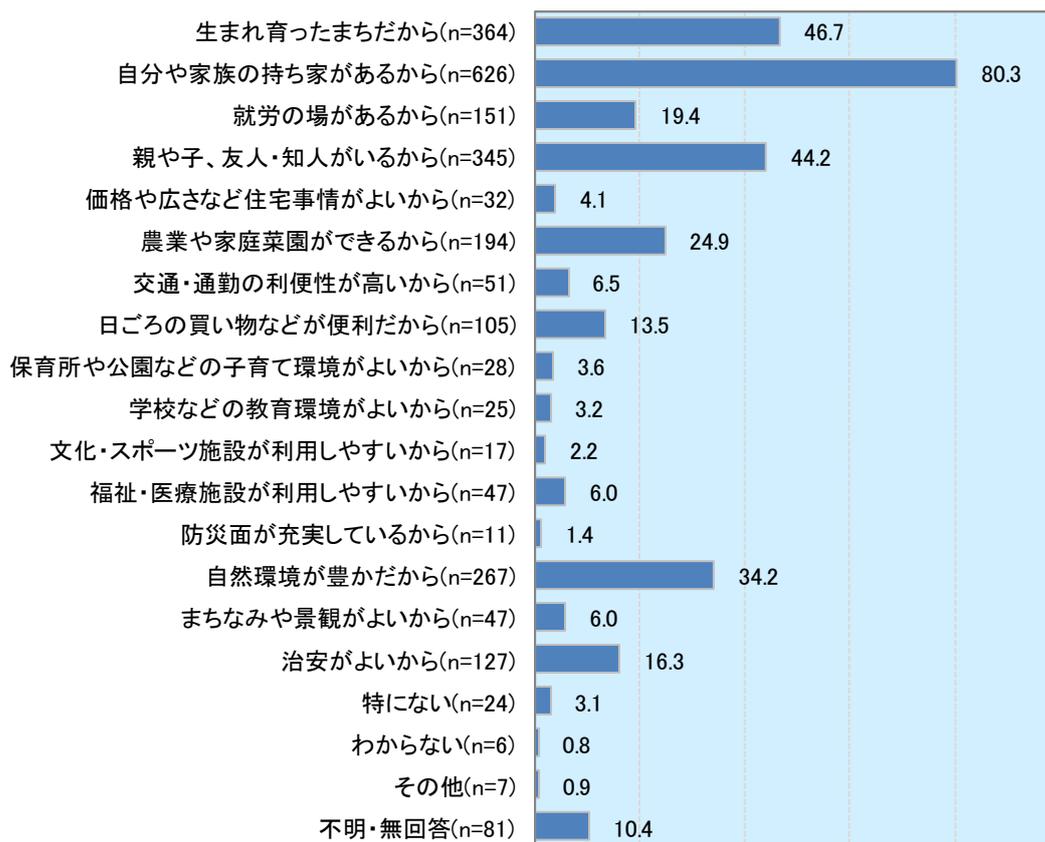
※問 11 で「1. いなべ市内」を選んだ方におうかがいします。

問 11-1 いなべ市内で暮らしたい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自分や家族の持ち家があるから」が 80.3%で最も高くなっています。次いで、「生まれ育ったまちだから」が 46.7%、「親や子、友人・知人がいるから」が 44.2%となっています。

【MA】

(N=780)



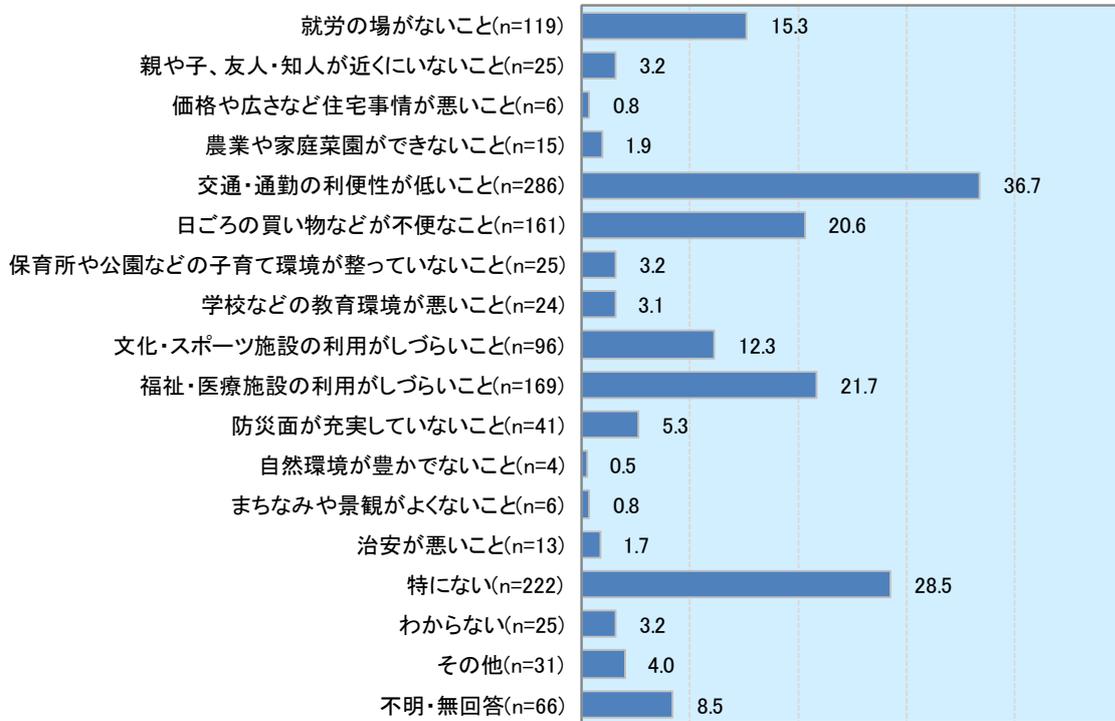
※問 11 で「1. いなべ市内」を選んだ方におうかがいします。

問 11-2 いなべ市で暮らすにあたり、不安に感じることは何ですか。(3つまで○)

「交通・通勤の利便性が低いこと」が 36.7%で最も高くなっています。次いで、「特にない」が 28.5%、「福祉・医療施設の利用がしづらいこと」が 21.7%となっています。

【MA】

(N=780)



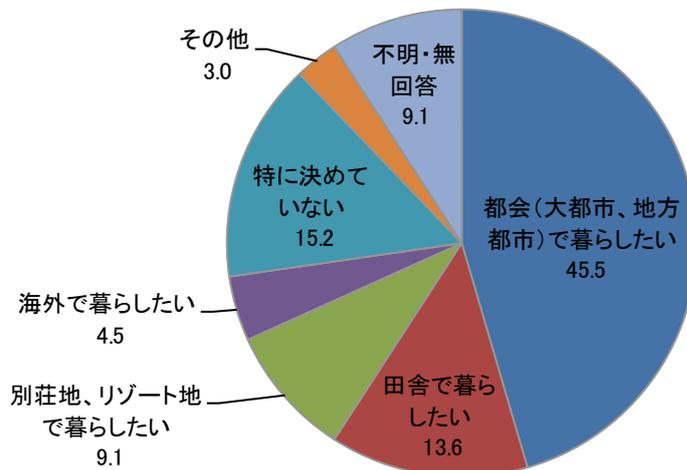
※問 11 で「2. いなべ市外」を選んだ方におうかがいします。

問 11-3 どのようなところで暮らすことを希望していますか。(1つに○)

「都会(大都市、地方都市)で暮らしたい」が 45.5%で最も高くなっています。次いで、「特に決めていない」が 15.2%、「田舎で暮らしたい」が 13.6%となっています。

【SA】

(N=66)



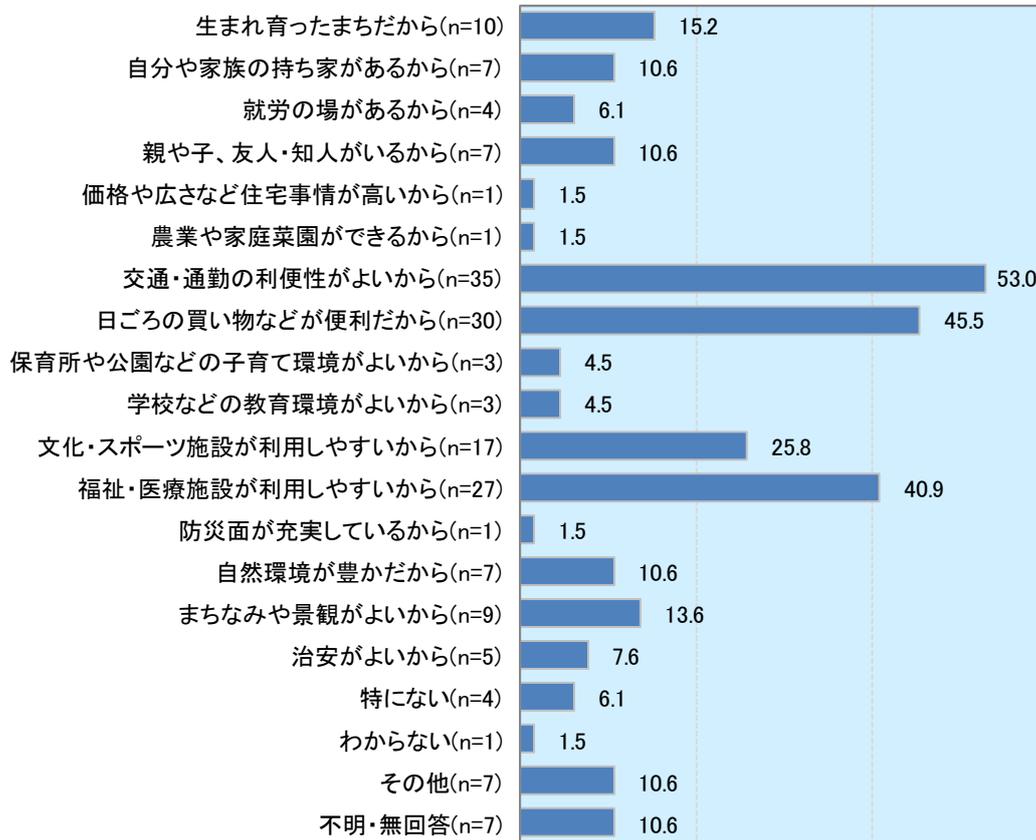
※問 11 で「2. いなべ市外」を選んだ方におうかがいします。

問 11-4 いなべ市外で暮らしたい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「交通・通勤の利便性がよいから」が 53.0%で最も高くなっています。次いで、「日ごろの買い物などが便利だから」が 45.5%、「福祉・医療施設が利用しやすいから」が 40.9%となっています。

【MA】

(N=66)



※問 11 で「2. いなべ市外」を選んだ方におうかがいします。

問 11-5 どのような条件を整えばこれからもいなべ市に住み続けたいですか。  
(3つまで○)

「交通・通勤の利便性が高いこと」が 40.9%で最も高くなっています。次いで、「福祉・医療施設の利用がしやすいこと」が 31.8%、「日ごろの買い物などが便利なこと」が 27.3% となっています。

【MA】

(N=66)

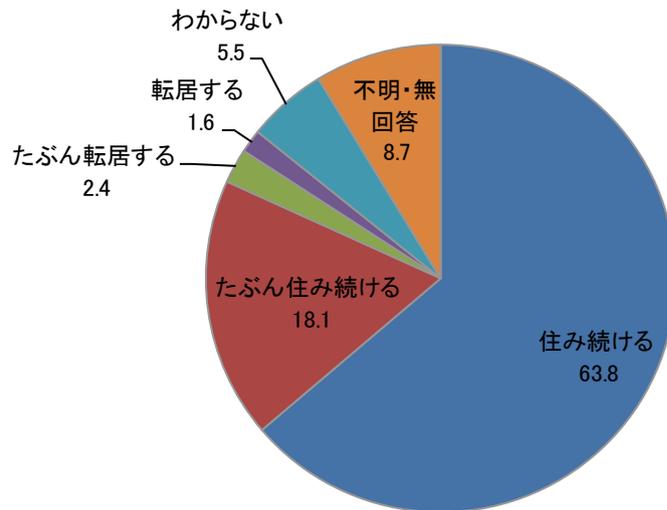


問12～問12-1は、退職された方のみへの設問です。

問12 あなたは、これからもずっといなべ市に住み続ける予定ですか。(1つに○)

「住み続ける」が63.8%で最も高くなっています。次いで、「たぶん住み続ける」が18.1%、「わからない」が5.5%となっています。

【SA】  
(N=127)

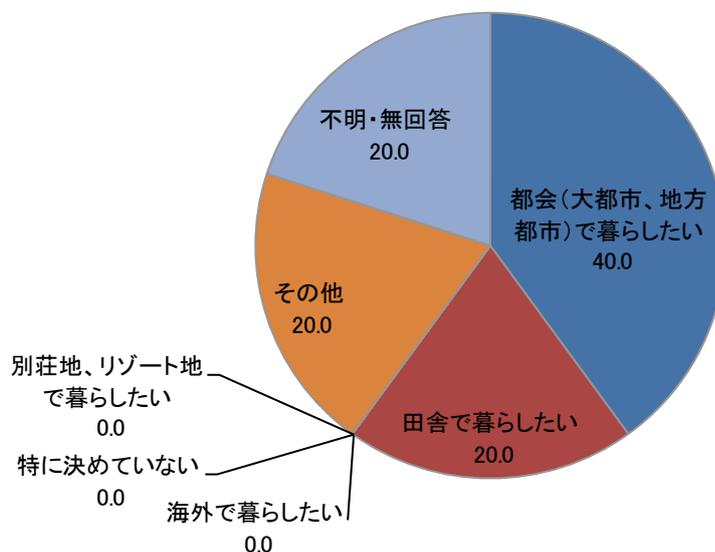


※問12で「3. たぶん転居する」もしくは「4. 転居する」を選んだ方におうかがいします。

問12-1 どのようなところで暮らすことを希望していますか。(1つに○)

「都会(大都市、地方都市)で暮らしたい」が40.0%で最も高くなっています。次いで、「田舎で暮らしたい」と「その他」がそれぞれ20.0%となっています。

【SA】  
(N=5)



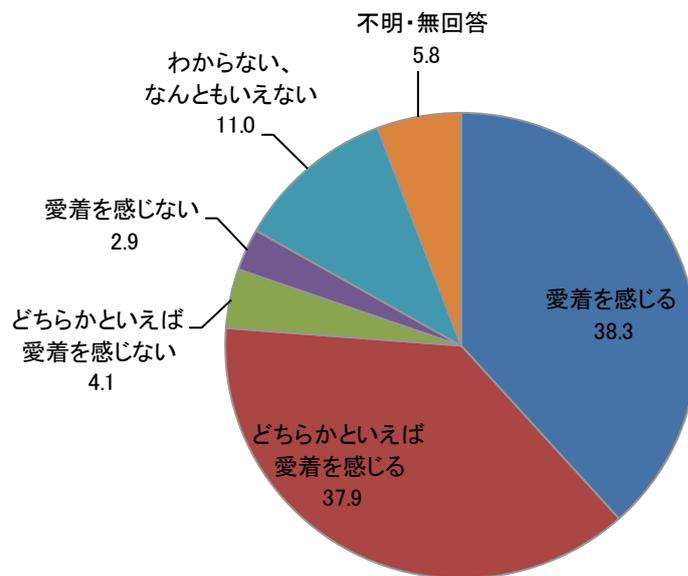
### 3 いなべ市に対する気持ちについて

問 13 あなたは、いなべ市に愛着を感じていますか。(1つに○)

「愛着を感じる」と「どちらかといえば愛着を感じる」を合わせた『愛着を感じる』が76.2%、「どちらかといえば愛着を感じない」と「愛着を感じない」を合わせた『愛着を感じない』が7.0%で、『愛着を感じる』の割合の方が高くなっています。

【SA】

(N=1,157)



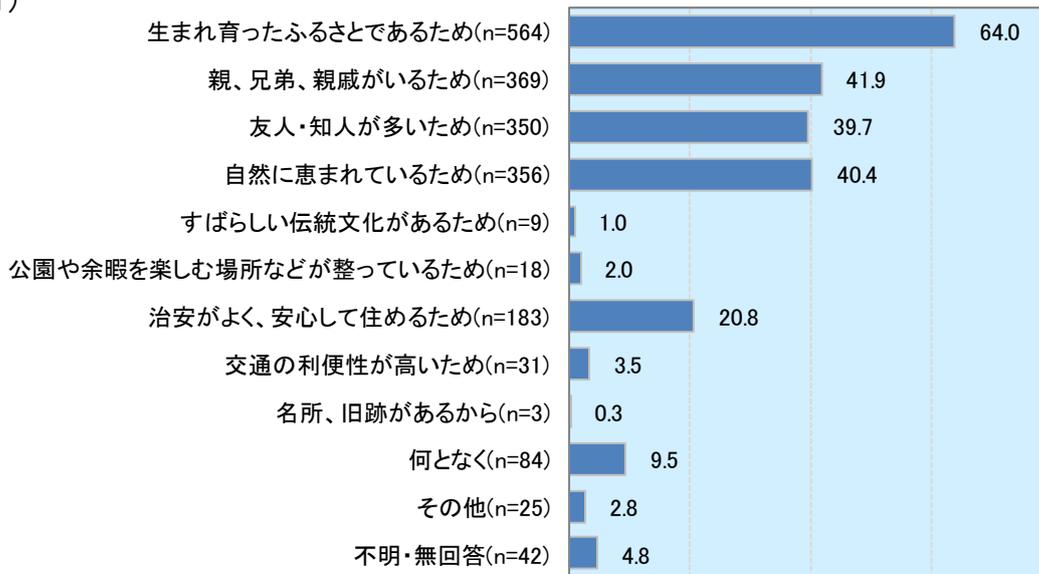
※問13で「1. 愛着を感じる」もしくは「2. どちらかといえば愛着を感じる」を選んだ方におうかがいします。

問13-1 愛着を感じる理由は何ですか。(3つまで○)

「生まれ育ったふるさとであるため」が64.0%で最も高くなっています。次いで、「親、兄弟、親戚がいるため」が41.9%、「自然に恵まれているため」が40.4%となっています。

【MA】

(N=881)

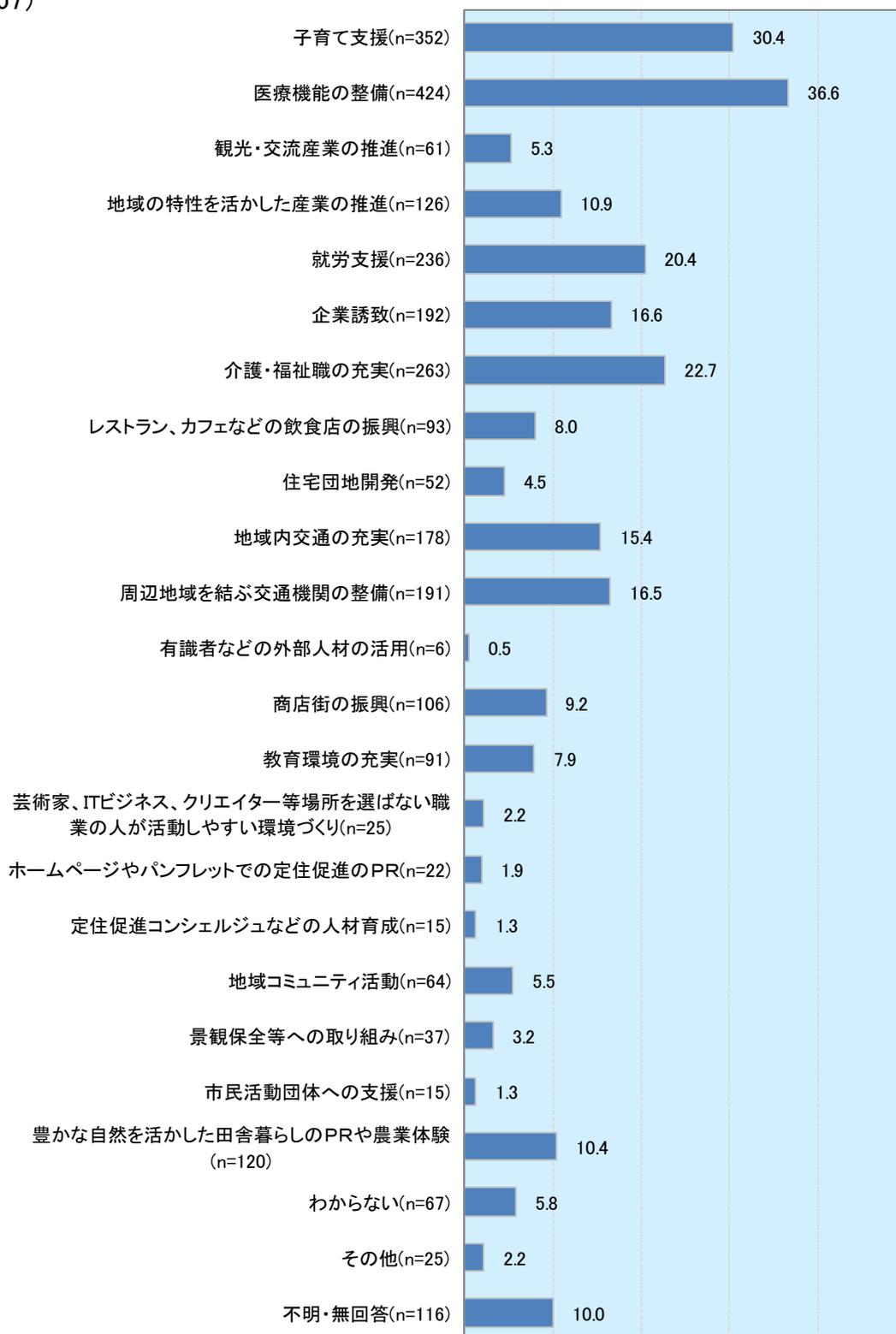


問 14 いなべ市への定住や移住を促進するための取り組みとして効果があると思うものは何ですか。(3つまで○)

「医療機能の整備」が36.6%で最も高くなっています。次いで、「子育て支援」が30.4%、「介護・福祉職の充実」が22.7%となっています。

【MA】

(N=1,157)



## IV 企業調査結果

---

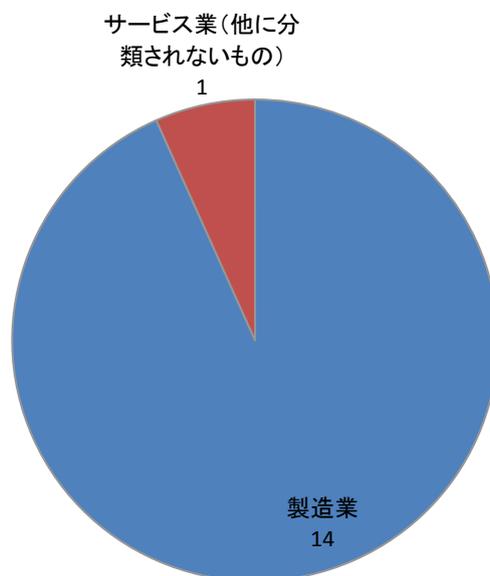
# 1 事業所について

問1 貴事業所の主な業種についてあてはまるものをお答えください。(1つに○)

「製造業」が14件、「サービス業(他に分類されないもの)」が1件となっています。

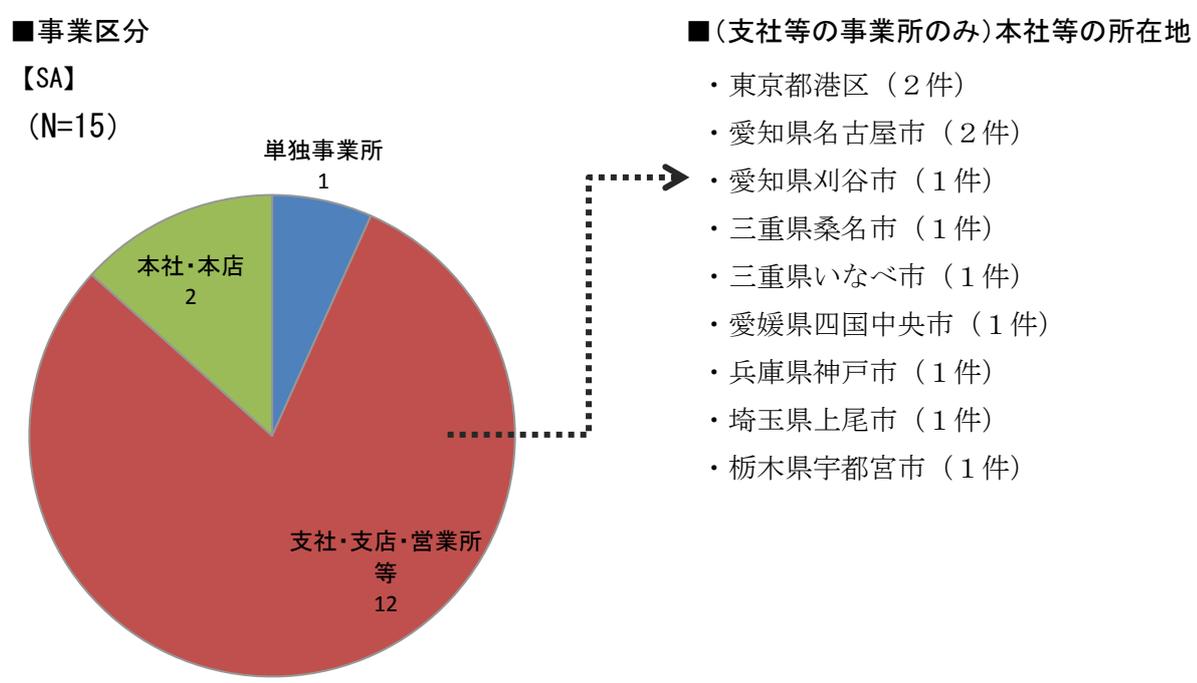
【SA】

(N=15)



問2 貴事業所の事業区分はどのようになっていますか。(1つに○、「2」の方は本社等の所在地を記載)

「支社・支店・営業所等」が12件、「本社・本店」が2件、「単独事業所」が1件となっています。



問3 貴事業所の従業員数は何人ですか。また、おおよその平均年齢を教えてください。(平成27年8月1日現在)(数字を記入)

	人数 (平均)	年齢 (平均)
正社員	447 人	38 歳
派遣社員	115 人	36 歳
パート・アルバイト	21 人	52 歳

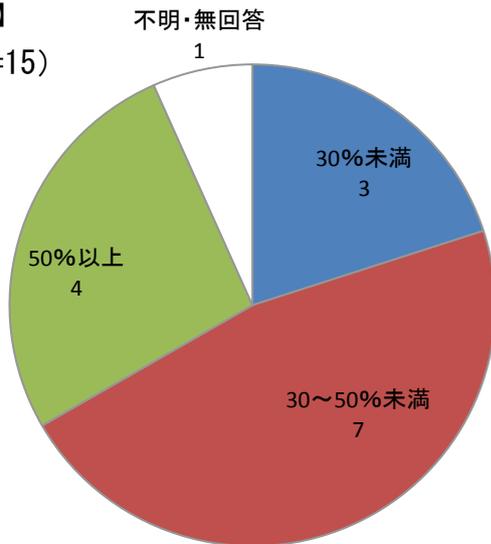
## 2 雇用について

問4 貴事業所の従業員の中で、市外在住の人の比率はどのくらいですか。また、市外に在住している従業員の主な居住地を教えてください。(数字、都道府県・市町村を記入)

「30%未満」が3件、「30～50%」が7件、「50%以上」が4件となっています。

### ■市外在住の人の比率

【SA】  
(N=15)



### ■市外在住者の主な居住地

- ・三重県桑名市 (8件)
- ・三重県四日市市 (6件)
- ・三重県東員町 (3件)
- ・愛知県名古屋市 (2件)
- ・三重県菰野町 (1件)
- ・岐阜県 (1件)
- ・岐阜県大垣市 (1件)

問5 貴事業所は、毎年何名程度の人員募集を行っていますか。(数字を記入)

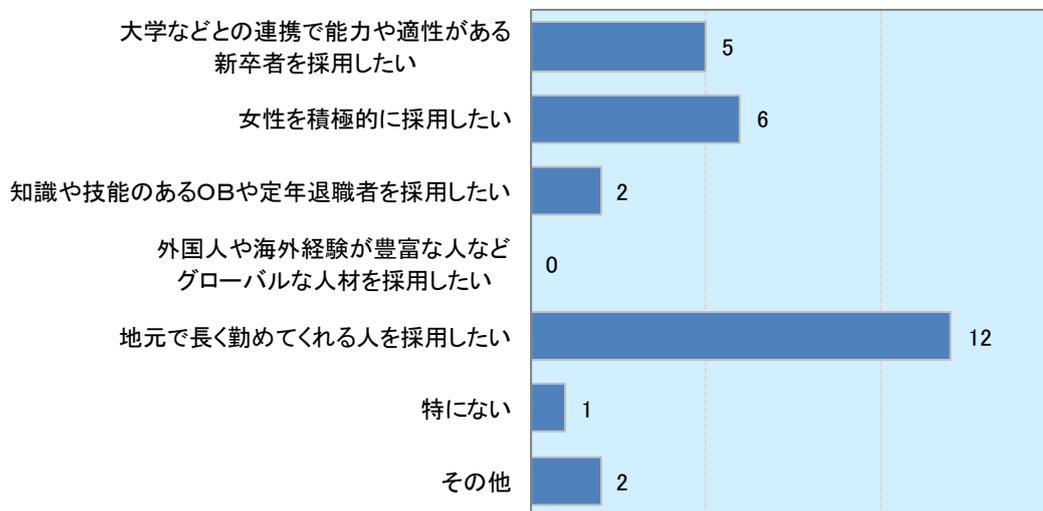
- ・ 0～10人未満 (8件)
- ・ 10人 (4件)
- ・ 35人 (1件)
- ・ 850人 (1件)
- ・ 不明・無回答 (1件)

問6 貴事業所は、どのような人材を求めていますか。(あてはまるものすべてに○)

「地元で長く勤めてくれる人を採用したい」が12件で最も高くなっています。

【MA】

(N=15)



**その他回答**

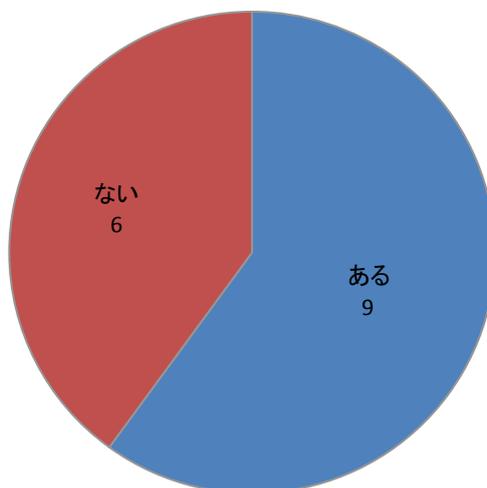
- ・ 期間社員の安定的な雇用
- ・ 明るく、礼儀正しく、コミュニケーション能力の高い人材を採用したい

問7 募集に対する応募が少ないなど、人材確保についての困りごとがありますか。(1つに○)

「ある」が9件、「ない」が6件となっています。

【SA】

(N=15)



※問7で「1. ある」を選んだ方におうかがいします。

問7-1 人材確保に向け、どのような方策をお考えですか。また、そのために必要な行政の支援があればご自由にご記入ください。

---

■人材確保に向けた方策

- ・ インターンシップの実施
- ・ 現業部門では、新卒採用増とともにキャリア採用についても検討中。また、派遣社員の活用のため、リソースの拡充に努めている
- ・ 優良な学生（特にリケジョ）の採用に向けた有名大学、地元学校へのPR・ルート開拓
- ・ 期間社員の安定的採用に向けた地元ハローワーク等とのコラボ
- ・ 新規及び中途採用の拡充。地元学校のインターンシップ受け入れ
- ・ 求人広告の活用、新規採用の拡充
- ・ 地元学校へのPR
- ・ 求人募集（ハローワーク）
- ・ 少子化の中で、今後新卒採用が難しくなってくる。地元学校との連携、企業イメージアップ、企業基盤の充実などを着実に実施していく必要がある
- ・ 知人、友人等の紹介を社員に展開
- ・ 県の就職支援センターからの実習生受け入れ

■行政からの支援で必要なもの

- ・ ハローワークとも連携した就職マッチングの場の提供
- ・ 就職支援
- ・ いなべ市が働きやすく、住みやすい町というPR活動
- ・ 指定校（いなべ総合学園高等学校、桑名工業高等学校）以外の教育実習の受け入れ（朝明高など）
- ・ 非常識な労務管理実績のある会社の、行政から（職安等）の人材紹介の抑制

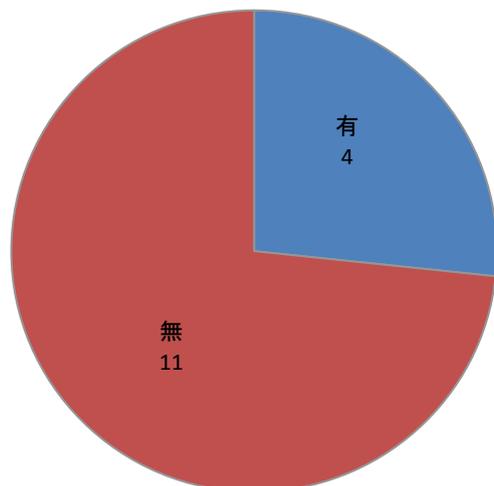
問8 貴事業所は、募集人員の拡大、新たな事業展開など、今後事業拡大の予定がありますか。

●募集人員の拡大予定についてお答えください。(1つに○)

「有」が4件、「無」が11件となっています。

【SA】

(N=15)



●新たな事業展開について予定がある場合は、具体的に教えてください。

- ・新工場建設 (2016年)
- ・受注増、海外展開に伴う要員増を計画している
- ・環境と安全分野を中心に断トツ工場づくり (1/N設備&ライン) に向け積極的に投資する計画だが、人員増は見込めず。(“三重の地”での生き残りに向けたグローバル競争力強化 → 断トツの生産性実現。即ち、現有リソースでの生産金額増)
- ・デンソー大安工場からの受注拡大

### 3 職場環境について

問9 貴事業所の従業員の中で、女性社員の占める割合はどのくらいですか。  
(平成27年8月1日現在)(数字を記入)

	割合
正社員	14.7%
派遣社員	29.5%
パート・アルバイト	39.2%

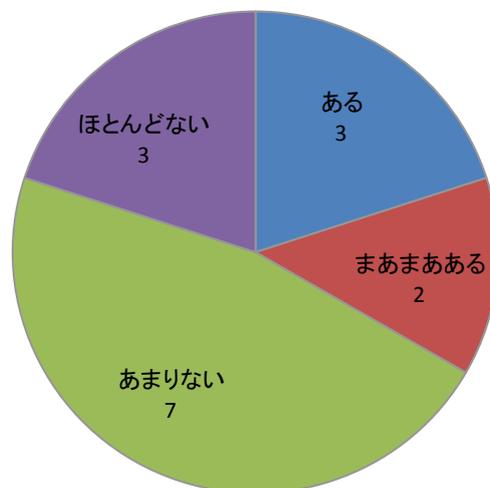
問10 全国的に、結婚・出産期に離職する女性が多いことが課題となっています。  
貴事業所では、結婚・出産による女性従業員の離職はありますか。ある場合は、  
その原因として考えられる要因をお答えください。

『ある』(「ある」と「まあまあある」を合わせた件数)が5件、『ない』(「あまりない」と「ほとんどない」を合わせた件数)が10件となっています。

#### ■女性社員の離職の有無

【SA】

(N=15)



#### ■考えられる要因

- ・育児問題
- ・育児と就業の両立困難(産休、育休に加え、時短勤務、自社保育所等福利厚生施策は全国でもトップレベルであるが、最大3年間の離職あり)
- ・結婚による転居
- ・配偶者の転勤
- ・就労・通勤時間の関係と育児・家事の両立の難しさがあるのではないか

**問 11 女性従業員（パート社員等を含む）の活用にあたり、課題となっていることがあれば教えてください。**

---

- ・ 現業部門は作業環境（暑熱、粉じん、肉体負荷）や交替勤務により、女性の応募がほとんどない
- ・ 長時間勤務の風土があるため、残業低減や有給カットゼロ等時短に注力中（労働時間管理を見直す機会とするべく、本社ではモーニングシフトを試行）
- ・ 応募が少なく、近隣市町村へ募集を広げている
- ・ フルタイムで働いてくれる女性従業員の応募が少ない
- ・ 技能系職場への女性従業員の応募自体が少なく、受け入れ態勢（トイレ、更衣室等の職場環境）が整っていない
- ・ 長時間（8～10 時間）従業員が少ない
- ・ 女性の応募自体少ない
- ・ 工場作業であり、事務職以外は体力的に厳しい面がある
- ・ 女性でもできる作業（計量品など）に限界があり、今後、重量物の軽減などの方策が必要

**問 12 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、労働時間、就業形態の見直しなどの取り組みを行っていますか。また、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて課題に感じられていることがあれば、ご自由にご記入ください。**

---

**■ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み**

- ・ 育児・介護の支援制度は充実しているが、利用実績は高くない（特に男性従業員）
- ・ 残業低減、有給カットゼロ、フレックスタイム、モーニングシフト、モバイルの提供等
- ・ 小学校就学までの短時間勤務の導入
- ・ ライフスタイルに合わせた労働時間の設定
- ・ 時間外労働削除に向けた取り組み
- ・ 労働時間の短縮。女性であれば、8～9 時間程度がベストではと思われる
- ・ 残業時間の低減、申請により居残り付き合い残業の低減
- ・ 育児休業制度、時差通勤など

**■ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて課題に感じていること**

- ・ 年休取得日数の向上、時間外労働の削減が喫緊の課題
- ・ グローバル競争力を担保する生産性向上（特に管理間接部門の生産性向上）。単に長時間勤務を是正し、グローバル競争力を損なうのは本末転倒
- ・ 企業活動上、フォローできる人材を確保しなければならないが、人件費の制約があるため、管理職の負担が増えている
- ・ 365 日稼働の工場なので、長期休暇が取りづらい
- ・ ライフに対する重要性の認識不足があるように感じる
- ・ 女性に対する残業が少し多いと感じる
- ・ 男性においては、深夜残業が偏っている

- ・残業代が生活給の一部となっている
- ・時短勤務者への仕事の与え方（一人工の仕事が与えられない）

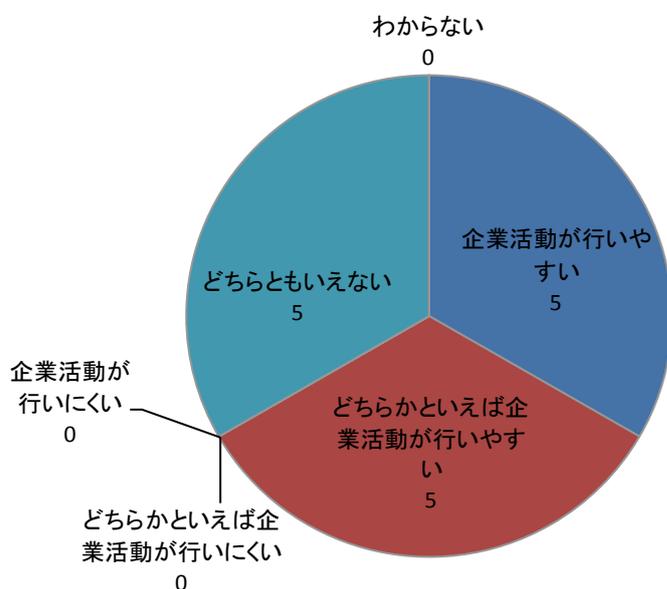
## 4 いなべ市における企業活動について

問 13 貴事業所にとって、いなべ市は企業活動が行いやすいと思いますか。（1つに○）

『企業活動が行いやすい』（「企業活動が行いやすい」と「どちらかといえば企業活動が行いやすい」を合わせた件数）が 10 件、「どちらともいえない」が 5 件となっており、『企業活動が行いにくい』（「どちらかといえば企業活動が行いにくい」「企業活動が行いにくい」）という回答はありませんでした。

【SA】

(N=15)



**問 14** いなべ市で企業活動を行うにあたって、いなべ市の「強み」だと思ふこと、「弱み」だと思ふことについてお選びください。(3つまで〇)

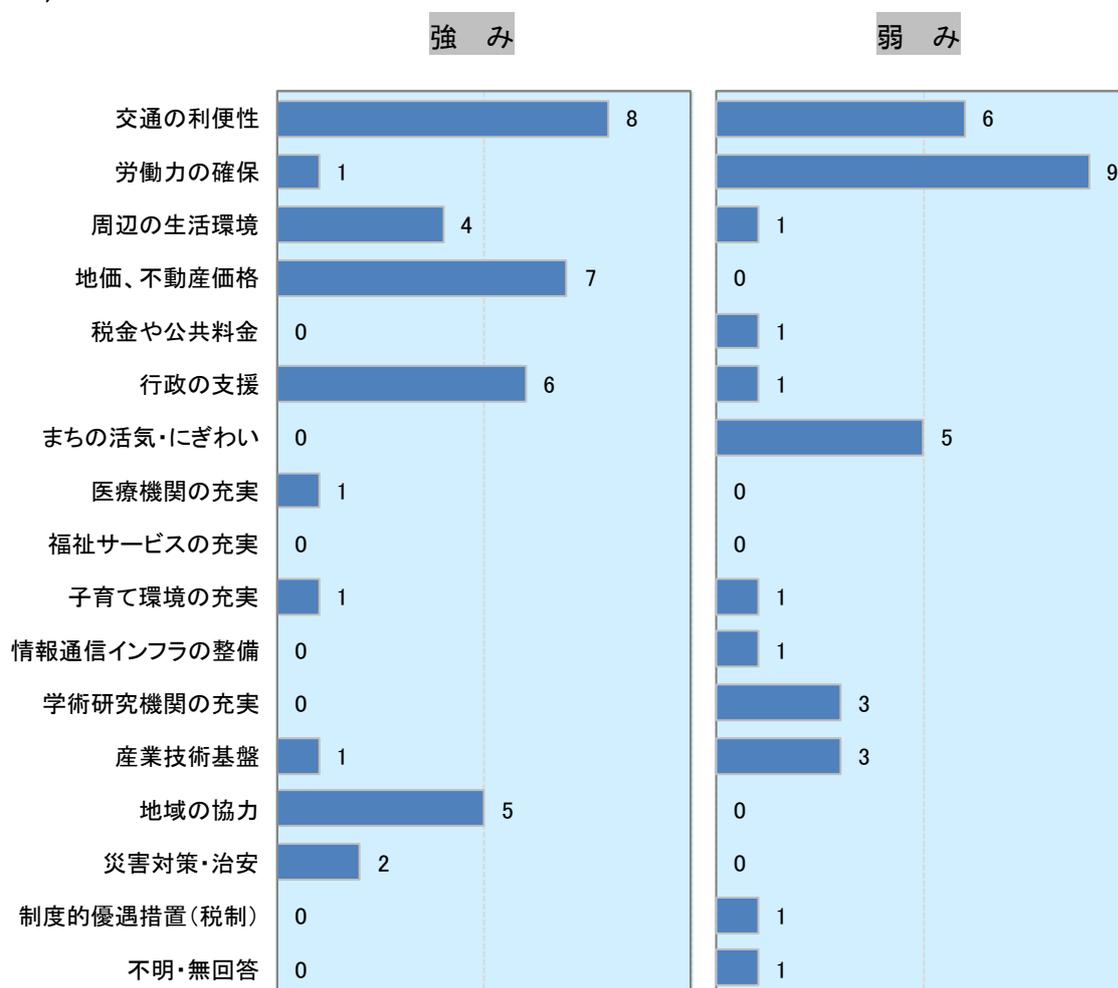
強みは「交通の利便性」が8件で最も高く、次いで「地価、不動産価格」が7件となっています。

弱みは、「労働力の確保」が9件で最も高く、次いで「交通の利便性」が6件となっています。

強みと弱みの差に着目すると、「地価、不動産価格」「行政の支援」「地域の協力」は弱みとして選択している事業所は少なく、強みとして選択している事業所が多くなっています。また、「労働力の確保」「まちの活気・にぎわい」については、強みとして選択している事業所は少なく、弱みで選択している事業所が多くなっています。

【MA】

(N=15)



**その他回答**

強み

・良質な水資源

弱み

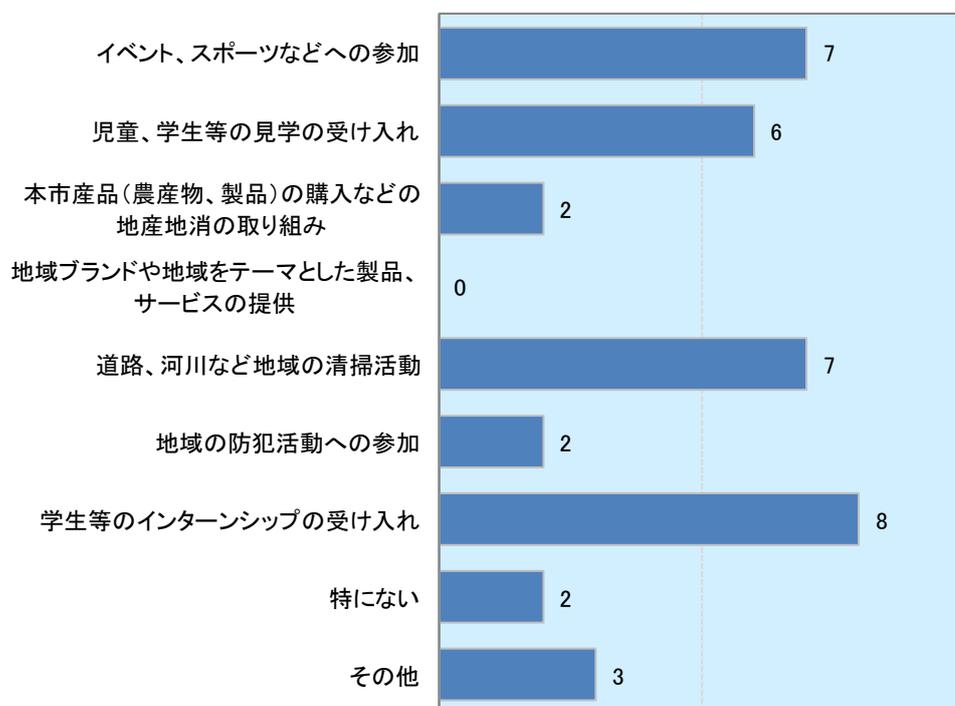
・雪害

問 15 貴事業所では、地域住民や地域社会に対する活動にどのように取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

「学生等のインターンシップの受け入れ」が8件で最も高く、次いで「イベント、スポーツなどへの参加」「道路、河川など地域の清掃活動」が7件となっています。

【MA】

(N=15)



#### その他回答

- ・高速道路陳情、女子陸上部（美し国市町対抗駅伝／陸上教室）、弊社スポーツ施設の地域開放、社協等への定期的な寄付など
- ・当事業所にて、毎年4月に「さくらまつり」開催
- ・地域の消防団活動への協力

問 16 今後もいなべ市内で事業を続けたいとお考えですか。(1つに○、「5」の方は、いつ頃を予定しているかを記入)

すべての事業所が「現在の場所で事業を続けたい」と回答しています。

問 17 いなべ市で企業活動を行っているなかで、市の防災対策は十分であると感じていますか。十分であると感じられない場合は、どのような対策が必要かを教えてください。

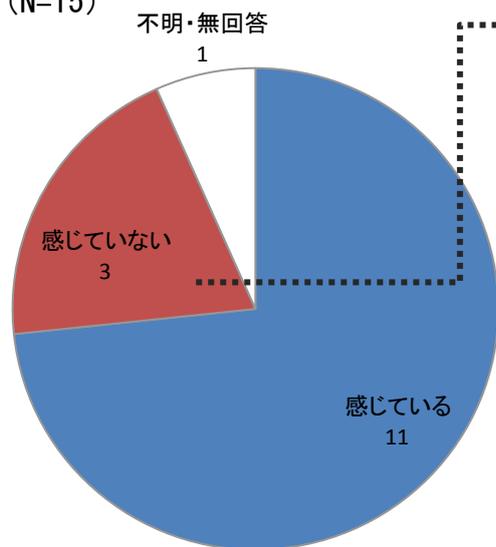
「感じている」が 11 件、「感じていない」が 3 件となっています。

■市の防災対策は十分であると感じるか

■(十分でないと感じる事業所のみ)必要な対策

【SA】

(N=15)



- ・いなべ市の防災対策が明確になっていないため、理解しかねる
- ・桑名市に依存しているため、充分とは言えないと判断する（消防関連）
- ・ハザードマップを基にした定期的な会議、周知の場を設ける。企業間、行政との連携
- ・自立的なBCPに向けての共助の役割が不明確。防災協定の締結と更新（適正化）が必要

## 5 いなべ市の今後の施策について

問 18 貴事業所が考えるいなべ市の魅力は何ですか。また、現在の魅力の発信方法についてどのようにお考えですか。

- ・若手社員が高校・大学卒業後、いなべ市で働ける環境づくりを大手企業（デンソー、トヨタ車体、神戸製鋼等）といなべ市で推進してほしい
- ・いなべ市全体（住民、企業人）で一丸となって取り組める行事を考案し、地域の知名度を上げ、地域の魅力を引き出すことが、今のいなべ市に必要な不可欠と思われる
- ・商工会なども参画して、各企業間の定期会議等を実施してはいかかがか
- ・今後、高速道路が整備されることにより便利になる
- ・中京圏の都市部や工業地域に近いという地勢は有利であり、高速道路網の整備など交通アクセスが良くなれば、さらに魅力が増すと考えている。また、豊かな自然環境や生活のしやすさと両立できる点が一番の魅力だと考える
- ・行政を始め、地域の皆様のご理解と温かいご支援（風通しの良い温かい風土）がいなべ市の魅力。高速道路の整備に伴い、将来的には“いなべの地”が交通の要所となるため、物流の利便性だけでなく、防災の面でもリスクヘッジが可能となる
- ・国際自転車ロードレース等をうまく活用するとともに、観光協会や三重県等ともコラボして、市のHPや三重テラス等を通じて、いなべの魅力発信が必要。特にHPの品質（魅せるHP）は重要である
- ・高速道路網に近接する要所であることが魅力。東海環状道や新名神が完成した後は、工業団地への企業誘致や物流拠点の創設など、力を入れる事項が目白押しだと考える。成功した自治体をモデルとした情報発信を試みてはいかかがか

- ・交通の便が良い（名古屋、大阪方面）。なおかつ、田舎なので物価・地価も安く、工場事業所は活動しやすい
- ・良質の地下水
- ・程良く田舎なところが魅力だと感じる（車があれば、買い物、レジャー等大きな不便はない）。魅力の発信方法については、最近、若い方がいなべ市に移住されているようなので、十分発信されているのではないか
- ・発信の仕方が良いとは思えない。もっと人を惹きつける方策を考えるべき
- ・本年よりいなべ市で事業を開始しましたが、操業にあたり、いなべ市には大変協力頂いた。
- ・豊かな自然、東海環状道の延伸による交通アクセスの向上を背景とした名古屋地域からの観光客の増加
- ・中心地（阿下喜）の活性化、核となる施設等の設置が必要

**問 19 人口減少社会に対して、企業としてどのような対応策が考えられますか。ご自由にご記入ください。**

- 
- ・将来的には、外国人労働者採用を視野に入れる必要がある
  - ・自社の労働意欲向上、やりがいのある企業づくりを推進することで、離職率低下を図る
  - ・工場内の機械に人手の掛からないロボットを導入し、従業員数をできる限り減少させる
  - ・労働力の確保が最大の課題である。良質な人材を確保するため、企業の魅力UPに取り組むと同時に、女性の活躍推進やキャリア採用など人材を幅広く受け入れていく努力が必要となる
  - ・国内での生き残り、即ち“三重の地（大安製作所）”で働く仲間6,000名の雇用の確保が必須である。企業の自助努力としてグローバル競争力強化に向けた断トツ工場づくりに注力することはもちろん、行政としてもインフラ整備（高速道路&一般道）に加え、規制緩和（許認可の簡素化・短縮、消防法の適正化等）や補助金支給等の支援を期待する。雇用維持に向けた優遇税制が新設されれば有り難い
  - ・外国人採用の推進
  - ・人口が減少することは、優秀な人材も獲得しにくいということであり、いかに少ない人員で、従来通りのまたはそれ以上の出力を上げられるかが課題となる。そのため、獲得した人材への教育や、離職の防止がより一層重要になってくると考える。教育に注力すれば、離職率は低下することができるため、社員への教育に注力していきたい
  - ・産前・産後休業・育児休業制度の推進
  - ・女性が働きやすい職場環境（施設等ハード面）を構築すること
  - ・子育て、要介護家族支援の充実
  - ・定年の延長及び廃止
  - ・日常業務の効率化及び取捨選択
  - ・在宅ワーク制度の導入
  - ・メーカーとして、ブランド力の強化
  - ・都会からいなべ市に人口が取り込める環境づくりと活性化が、行政として必要ではないか
  - ・高齢者や女性の働ける職場環境を整備することが重要
  - ・自動化や半自動化による効率追求も企業としての課題だが、人を大事にする企業体質を強化していくことが命題である
  - ・女性、高齢者の活用のため、重量物の軽減、搬送の自動化などの推進
  - ・IT活用による事務作業の効率化の推進

## V 地域金融機関調査結果

---

# 1 基本事項

問1 貴行の業態をお選びください。(1つに○)

【SA】

(N=7)

業種	件数
都市銀行	0件
農協	1件
地方銀行	2件
第二地方銀行	2件
信用金庫	1件
信用組合	0件
その他	1件

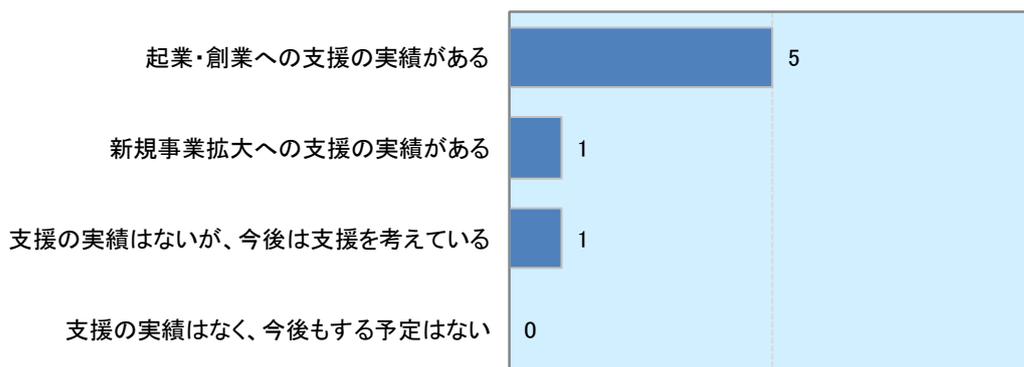
# 2 市内企業への支援について

問2 貴行では、起業・創業への支援、新規事業拡大への支援の実績がありますか。(1つに○)

起業・創業への支援実績は5件、新規事業拡大への支援実績は1件となっています。

【NA】

(N=7)



※問2で「1」「2」を選んだ方におうかがいします。

問2-1 支援実績について、詳しく教えてください（過去3年間の融資件数、支援先の従業員規模、業種等）。（数字を記入）

	平成24年	平成25年	平成26年
起業・創業への支援	51件	60件	89件
新規事業拡大への支援	0件	4件	5件

※回答があった件数の合計値

#### ■支援事業の詳細

- ・従業員規模については、零細・小企業。業種については、理容業等
- ・従業員規模は、すべて10名以下。業種は、自動車販売、カフェ、レストラン、医院、エステ、化粧品販売、介護事業、不動産賃貸、太陽光発電等
- ・【起業・創業】 ①自動車整備・販売業（従業員2名）、②ペットトリミング（従業員2名）
- ・【新規事業拡大】 ①建設業が新規事業で介護施設を開設（従業員計50名）
- ・家族経営2～4名。米麦、大豆、野菜等
- ・従業員規模については、1～60名と幅があり、平均すると7.3名/社となる。業種については、飲食業、医療、美容、介護、学校等サービス、不動産業、製造業、土木工事業、中古自動車販売業、衣料品等小売業等がある

※問2で「3」を選んだ方におうかがいします。

問2-2 今後、どのような条件があれば、起業・創業や新規事業拡大に対して支援したいと思いますか。具体的に教えてください。

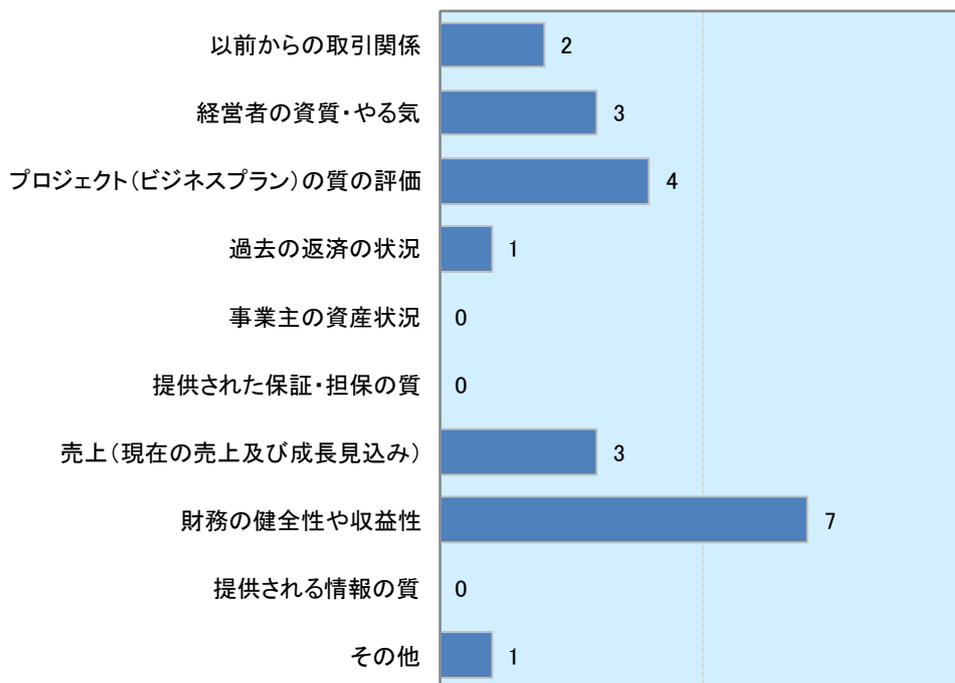
- ・企業融資については、労働金庫法上行うことができないが、NPO に対しての事業融資、寄付システム制度を活用した支援がある
- ・起業経験、自己資金の有無
- ・創業計画書が充実（商工会等による経営相談・経営指導、創業塾支援講座等受講）
- ・都道府県等中小企業支援センターの支援（専門家の派遣、情報提供、事業可能性評価）
- ・地域農業振興に寄与できる認定農業者を中心に新規就農者、特に若い世代及び事業規模拡大の認定農業者等

**問3** 取引先の状況について、出資、融資判断で重視するのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

「財務の健全性や収益性」が7件で最も高く、すべての金融機関が選択しています。次いで「プロジェクト（ビジネスプラン）の質の評価」が4件となっています。

【SA】

(N=7)



**その他回答**

- ・資金使途の妥当性

### 3 移住・定住に向けた支援について

問4 貴行におけるいなべ市民の住宅ローンの状況について、過去3年間の貸付件数を教えてください。(数字を記入)

	平成24年	平成25年	平成26年
住宅ローンの貸付件数	88件	104件	83件

問5 市内の空き家、空き店舗の活用に向け、具体的な取り組み、今後できるアイデアがあれば教えてください。

- ・東海ろうきんでは、中古住宅購入費用とリフォーム費用をひとつにまとめてお借り入れができるプラスリフォームローンがあり、リフォーム費用も住宅ローンと同じ金利で、まとめて一括で申し込みできる便利なローンがあり、空き家の売買、取引の活性化に寄与できるのではないかと考える
- ・移住・定住者を促進するためのローン商品及び、空き家対策に対するローン商品を、今後開発、検討していく
- ・空き家、空き店舗をいなべブランドが発信できる店舗（蕎麦屋、カフェ、雑貨屋等）として利用していただく。人材は地元シルバーの方の協力を得る
- ・災害の少ない地域としてPRするとともに、地元企業とも連携しながら移住者への仕事を確保するなどメリットのある施策を考える
- ・移住者への家賃、改装費等の補助
- ・店舗改装資金への低利融資制度の新設や利子補給等の検討
- ・信用金庫の全国ネットワークを利用した空き家情報等の発信
- ・空き家ローン等の融資商品開発の検討
- ・【案1】空き家・空き店舗の所有者の意向を把握した上で、当行取引先である各大手ハウスメーカーや地元業者と連携する。具体的には、空き家・空き店舗の解体・改装費用のニーズがある場合の融資相談や、賃貸及び売却を希望する場合には、業者より賃貸及び売却先の紹介を行う
- ・【案2】空き物件を活用（需要喚起）するためには、企業誘致や起業創業を支援するスキームを金融機関と連携して確立することが重要。高齢化や人口減少の対策には、若年層に対する地元雇用の創設が有効であり、相談窓口の設置、インフラの整備・再構築に注力する
- ・【案3】物件の老朽化を遅らせるための管理代行サービスの実施
- ・【案4】リバースモーゲージローンの検討。自宅を担保にした融資で資金を年金のように受け取り、今後検討していきたい一種。自宅を所有しているが現金収入が少ないという高齢者世帯が、住宅を手放すことなく収入を確保するための手段。住み替え後、空き家となった住宅をリバースモーゲージの活用でリフォームし、賃貸する形も考えたい
- ・空き家については、資産管理課桑名事業所賃借仲介等の活用が考えられる
- ・後継者不足の農家住宅の活用として、無農薬野菜等の特色のある商品の生産に特化した農業生産地域を設け、転入者を受け入れ育成、付加価値の高い農業生産者集団を育てることで、人口増加と税収増加につなげていく

**問6** いなべ市では近年、住宅の造成が減少しています。住宅造成が進んでいない原因についてどのようにお考えですか。ご自由にご記入ください。

- ・交通の便が良い土地の減少、住宅価格の問題、長期ローンの安定収入確保の懸念などが考えられる
- ・用途地域の規制が沿道を除き、若干流動的でなく感じられる。進出企業の打診を過去受けるも、結果断念するケースが散見される
- ・いなべ市の魅力（自然と街との共存）について対外的にアピール不足
- ・公共交通機関の利便性が低い
- ・大手企業勤務者の住宅取得が一巡し、住宅ニーズが弱まっている
- ・地元住民は、土地に余裕のある世帯が多い
- ・いなべ市行政区域面積 21,958ha（内 林野面積 12,958ha、耕地面積 2,740ha、耕作放棄面積 184ha …全体の72%を占める）
  - (1)いなべ市の行政区域内において、農地法に基づき土地改良を行った農業振興地域が多く残存している。（東海環状道路北勢インター予定地近隣）
  - (2)藤原地区において主に高齢化による空き家問題が深刻化するとともに、若年層の減少により住民の購買力も低下している。その結果、地場産業及び商店街が衰退し、後継者問題も顕在化している。地場産業及び商業が育たなければ、労働者も働く場を求め三重県沿岸部（市外）や県外に流れる傾向が強まり、地元の住宅造成ニーズがさらに低下していく
- ・デンソー、トヨタ車体等大手企業の誘致がなく、また、桑名市や東員町等学校、医療、商業施設が充実している地域での定住希望者が多いように思われる。今後、東海環状線の開通による活性化を期待する
- ・大企業の工場等はあるものの、交通の便が悪いことから、他市町と比較し、居住環境としての魅力が薄く、家族世帯が定住しない

## 4 市内企業の動向について

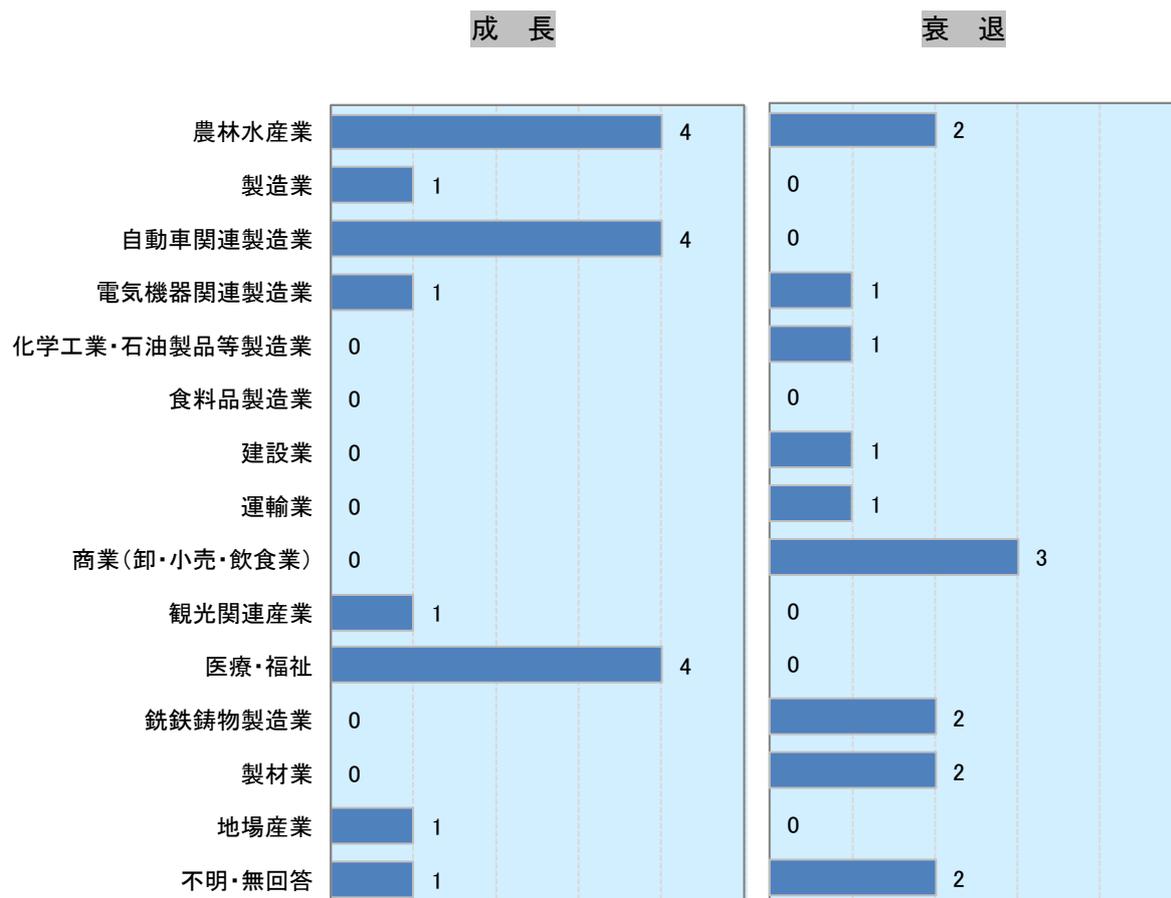
**問7** いなべ市における企業活動についてどのような印象を受けますか。企業が求めていると思われる支援や、市内企業の動向など、自由にご記入ください。

- ・（当金庫の会員である）デンソー、トヨタ車体、太平洋セメント、神戸製鋼所の工場が点在しており、引き続き誘致活動、企業優遇、道路整備などの支援が必要と考える
- ・取引先を開拓したいが、人材不足等で営業活動できない小規模事業者が多い
- ・後継者問題を抱えている小規模事業者が多い
- 【小売業】
  - ・大手業者地域参入し、地元老舗スーパーや商店の経営に打撃を与えている
  - ・インターネットの普及により、商品購入スタイルが大きく変化し、店頭販売営業が縮小
  - ・後継者不足
- 【製造業他】
  - ・いなべ市内にこだわることなく、幅広いエリアで仕入れ先・受注先等の紹介を含めたビジネスマッチングニーズが高まっている。（仕入れコスト削減・販路の拡大ニーズ等）
  - ・農業経営者については、機械、施設取得時の補助金等の制度
  - ・交通インフラの整備

問8 今後、成長が期待される産業分野、衰退の可能性がある産業分野はありますか。以下の選択肢群1～16の中からそれぞれお選びください。(口内にそれぞれ番号を記入)

成長が期待される産業分野は「農林水産業」「自動車関連産業」「医療・福祉」が4件で最も高くなっています。

衰退の可能性がある産業分野は「商業（卸・小売・飲食業）」が3件で最も高くなっています。



### その他回答

#### 成長

- ・ 航空・宇宙関連製造業（2件）

問9 貴行では、今後どのような事業展開（融資又は投資など）を考えていますか。参入を考えている産業分野や、具体的に実施を予定している事業等があればご記入ください。

- ・事業融資はないが、個人の住宅融資、教育ローン、車のローンといった勤労者の生活の向上のサポートを継続して事業展開を行っていく
- ・医療・介護関連事業への取り組みを強化していく予定
- ・①事業者の販路拡大等の経営課題を解決するためにビジネスマッチングの取り組みに注力している。地域産業の発展に向けた創業や地域資源活用等をサポートするために、弊行ネットワークを活用したビジネスマッチングの情報を提供する
- ②我が国の特許は約160万の登録件数のうち、半数の特許が活用されていないのが現状である。その中には有望な技術でありながら、マーケット規模が小さく事業化を見送った大企業の特許もある。このような開放特許（他社に供与できる特許）を中小企業が取り入れ、新しい製品づくりや既存製品の付加価値向上を目的にしたセミナーの開催やマッチングイベントに注力していく予定である
- ・農業関係融資を強化したい
- ・規模の拡大・成長を志向する認定農業者を対象に出資という形で支援する「さんぎん農業ファンド」により、農業の成長産業化を推進している

## 5 移住・定住に向けた支援について

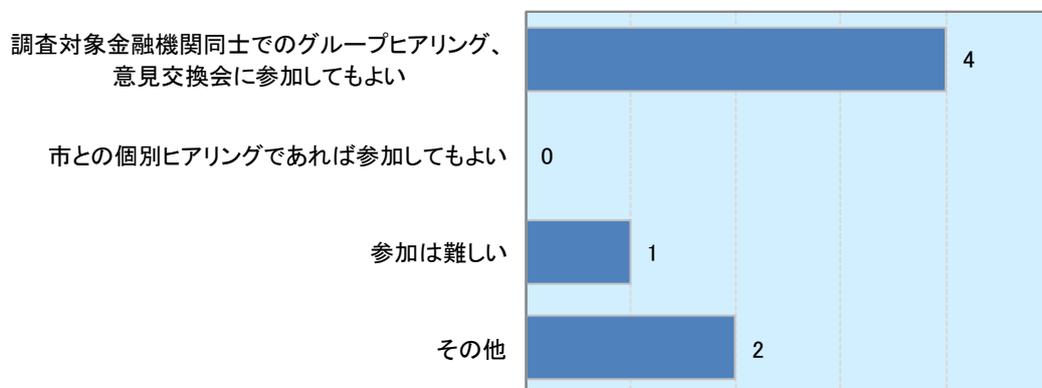
問10 いなべ市への協力をはじめとする地方創生の推進に向けた何らかの体制整備が行われていましたら、その具体的な取り組み（予定を含む）について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「地方創生担当部署・窓口の明確化」が5件、「専門チームの立ち上げ」が3件となっています。



問 11 今回お聞きした内容をもとに、ヒアリングや意見交換会を実施したいと考えています。その際の貴行の参加意向をお聞かせください。(1つに○)

「調査対象金融機関同士でのグループヒアリング、意見交換会に参加してもよい」が4件となっています。



#### その他回答

- ・ 1、2でも可能な限り、ご協力させていただきます
- ・ 組織全体としての参加であれば可

問 12 いなべ市との関係等で困っていること、求めていることはありますか。また、地方版総合戦略の策定に関し、何か課題と感じられていることはありますか。

- ・ いなべ市指定金融機関として、市役所内の各部署との関係強化が図られており、特に困っていることはない
- ・ 地域版総合戦略の策定に関しては、指定金融機関としての役割を果たすべく、他行に先駆けて、それぞれの課題・問題に対して真摯に向き合い対応したいと考えている。また、持ち得る資源を有効に活用し、綿密な相互連携と協力の下、いなべ市における地方創生の課題解決を図るため、地方創生にかかる包括連携協力に関する協定の締結を前向きに検討したい
- ・ 市内に支店を置いていないが、三重県内64か店、愛知県18か店、岐阜県2か店、大阪府6か店、奈良県2か店、和歌山県5か店、東京都1か店の1都1府5県に計98か店の支店網を有している。地域銀行としては、比較的広域の店舗網を活かした地方版総合戦略の策定への貢献が課題であると捉えている

問 13 まち・ひと・しごと創生に向けた新たな融資制度などをお考えであれば、教えてください。

---

- ・ 現在、いなべ市とは提携融資（勤労者教育資金貸付）制度がある
- ・ 移住、定住者を促進するためのローン商品及び、空き家対策に対するローン商品を、今後開発、検討していく
- ・ 現状は特にないが、今後、いなべ市の地方創生への取り組みに対して、対応できるものは検討していきたい
- ・ 2015年8月3日より、地方創生への取り組みの一環として、融資商品「中京地方創生ファンド」の取扱いを開始している。本商品は、地域資源の活用や地域産業の競争力強化につながる以下9項目を「地方創生の取り組み」と捉え、これらの取り組みを行っている事業者の方を融資対象とすることで、地方創生を資金調達面より支援する。
  - (1) ローカル版クールジャパンの推進
  - (2) 雇用増加・人材育成・雇用対策
  - (3) ものづくり・サービスの革新
  - (4) 地場産業の競争力強化に繋がる独自性のある取り組み
  - (5) 地公体等との連携
  - (6) 包括的創業支援
  - (7) 事業承継・M&A
  - (8) グローバル展開
  - (9) 外部機関との連携や補助金等
- ・ 移住、定住者向けローンの検討
- ・ 組織全体としての企画となる
- ・ 研究開発、起業、地域再生、都市再生事業、農林水産業、農商工連携事業等の成長基盤分野の強化に資する事業に必要な運転資金、設備資金として「成長基盤分野応援ファンドⅡ」、農商工連携事業者向けの「農商工連携応援ローン」、認定農業事業者向けの「さんぎん農業ファンド」を用意している

## 6 本市の今後の施策について

問 14 貴行が考えるいなべ市の魅力は何ですか。また、現在の魅力の発信方法についてどのようにお考えですか（十分発信されている、発信の仕方がよくない、等）。ご自由にご記入ください。

- ・自然豊かな観光面でのアピールが少ない。また企業誘致をされる中で、当金庫も会員組合が増え、取引拡大となり、勤労者福祉金融機関としての役割が発揮できることを期待している。その他、いなべ市職員労働組合様には日頃よりお世話になっているが、いなべ市民の方の勤労者の生活応援として住宅ローン、教育ローン、車のローン、こども用積立、ATMでのお支払手数料の還元（0円）などメリットのある商品、サービスがあるため、広報等様々な機会を通じてアピールさせてもらえればと考えている
- ・先行利益として①自動車製造関連企業（デンソー・トヨタ車体・三五・NTN・光精工・扶桑工機ほか）が多く進出、また②東海環状道路が近い将来に開通することから、自動車関連企業をターゲットとした企業誘致の優位性がいなべ市の魅力であると思う。企業誘致策として税制優遇だけでなく、定住、移住促進（従業員向け）を念頭に置いた提案は先方企業にとっても福利厚生面でメリットがあると考え  
（福利厚生【案】）
  - ・移住者の自宅購入に関する税制優遇
  - ・移住者へ田畑のメリット貸与 他
- ・【魅力】
  - ・恵まれた自然環境や歴史文化
  - ・住民のつながりや助け合い意識の強さ
  - ・東海環状自動車道開通による利便性の向上
  - ・6次産業への積極的な取り組み
- 【発信方法】
  - ・地域金融機関のネットワークを活用した発信
  - ・東海環状自動車道開通による利便性を積極的に発信し、企業誘致を図る
- ・いなべ市には以下のような多くの魅力があり、弊行の特徴である愛知県・三重県・奈良県を中心として店舗ネットワークを活用した情報発信をしていきたいと考えている
  - (1)財政状況が安定（優良）
  - (2)工業団地が充実
  - (3)地盤が固い（地震災害・津波被害がない）
  - (4)東海環状道路（建設中）
  - (5)自然が豊かでゴルフ場・公園・キャンプ場・登山等レジャー施設が充実。山村入学に積極的。自然環境を生かした太陽光発電にも注力
  - (6)人柄（全般的におおらかである）
  - (7)子育て支援が充実（学童保育他）
  - (8)ツアー・オブ・ジャパン等の国際競技の誘致に熱心
- ・豊かな自然と田園風景。東海環状線が開通となればこの風景も少しは変わっていくと思う。今後、都市化が進む中で豊かな自然との調和も考える必要があると思う
- ・豊かな自然に恵まれており、登山で有名な藤原岳、自転車ロード競技ツアー・オブ・ジャパンの開催などのアウトドアスポーツ、そば、さくらポークなどの地元食材等魅力ある観光資源があるものの、十分に発信されておらず、また来訪した観光客を滞在させる施設も少ない



## VI メディア調査結果

---

# 1 いなべ市の魅力発信について

問1 貴社がまちの魅力を発信する際に重視するのはどのような点ですか。受け手の求める題材や、魅力的なまちの条件などについて、ご自由にご記入ください。

・ 1. ニュース性・話題性

他の市町にはない魅力。観光地・特産品・名所旧跡・市民や企業の取り組み・制度・行政サービス・自然環境・交通環境・スポーツなど

・ 2. 地域愛・そのまちに住みたいと思う気持ち

地域に住む人がそのまちをより好きになり、他の地域に住む人がそのまちに住みたいと思うような魅力。伝統・歴史・市民活動・福祉・安心安全・子育て・教育・人の活力など  
ただ、まちの魅力は、地理的要因や高齢化率などによるところも大きく、受け手側もまた、趣味嗜好・生活環境・仕事・家族構成などによって魅力を感じる点が異なってくる。まちの人たち自身が何を魅力だと感じ、どのような人に向けて発信したいのか、意向を捉えることが情報発信の前段階として最も重要となる

- ・ いなべ市には、豊かな自然、蕎麦などの地元産品、希少な鉄道、自動車産業など多くの素材があり、市内の観光協会や商工会など内外への発信が重要であると考えます。その中で、タイムリーな情報を発信し続けることが重要である  
受け手にとってお得感のある情報、旬な情報は魅力的であるため、小さなことでも発信し続け、相手を特定せずに広く東海、近畿地域へ発信することが重要である

問2 貴社が発信したいと思ういなべ市の魅力は何ですか。ご自由にご記入ください

- ・ 1. 紅葉や溪谷・滝・美しい山々などの自然、ウォーキング・アウトドアが楽しめる場所  
2. 豊かな自然が育んだ特産物、地域の農家・飲食店が生み出した新たな食の魅力  
3. 「1」「2」とまちをつなぐものとして、  
サイクルツーリズム・北勢線・空き家空き地バンク・山村留学などの可能性  
4. 活力あふれるシニア世代、スポーツ・文化面で活躍する若い世代  
5. 介護支援や高齢者・子どもの見守り活動に代表される支えあい・ふれあいの心  
6. 「田舎」で「少子高齢化」の課題を抱えるまちでありながら、積極的に情報発信や事業に取り組み、将来の可能性や魅力にあふれている点
- ・ 市内のイベントや近隣のイベントをFM放送の生活情報、行政情報の中で紹介している。特に、いなべ市の産品を使用頂いているお店の紹介やイベント情報の発信を行っているが、今後も充実していきたいと考えている。いなべエフエムの放送は、インターネットでも聞けるため、現在も全国で聞いていただいている。自然豊かで、就労環境、教育環境、子育て環境が整い、地理的にも東海、近畿、北陸の中心にある、いなべ市の魅力を発信できると思う

**問3** いなべ市のさらなる発展のためには、まちの外から新たに人を獲得していくためのアプローチが非常に重要となります。こうした外向けのプロモーションについて、貴社が考える効果的なプロモーション方法や媒体は何ですか。

---

- ・ 1. 企業向けPR映像の制作、配信  
市内への企業進出を促進するためのPR映像を制作。地価、立地、制度、住環境などに絞った内容とし、大企業・中小企業向けなど数パターンを制作。ネット配信・DVD配布・放送等
  - ・ 2. 観光業界（旅行代理店・宿泊施設）向けPR映像の制作、配信  
いなべの魅力を届けるためのPR映像を制作。一般向けではなく、旅行代理店等に新たなツアーを企画してもらったり、宿泊施設を誘致したりすることが狙い。ネット配信・DVD配布・放送等
  - ・ 3. エリア・ジャンルを絞ったPR展開  
愛知・三重県北部など名古屋圏から人を呼び込むためのPR。大阪からの移住を考えさせるPR。モンベルフレンドエリア、ツアー・オブ・ジャパン開催地としての一層のPRなど
- ・ いなべの魅力を発信し続けることで、いなべ市に関心をもっていただき、自然豊かで、就労環境、教育環境、子育て環境の整ったいなべ市に住みたいと思う人が増加すると思う。いなべエフエムといなべ市が共働して発信していく、いなべ市の魅力発信番組もいいのではないか

**問4** 地方版総合戦略の策定に関して、いなべ市の魅力発信について協力いただけることはありますか。

---

- ・ 1. いなべ市PR映像の制作
  - ・ 2. 弊社番組（ケーブルNews等）への日沖市長ゲスト出演
  - ・ 3. イベント告知等におけるいなべFMとの連携
- その他、日常取材・放送において魅力をご紹介できるよう努める
- ・ 現在、毎週月曜日から金曜日の朝、昼、夕方の情報バラエティ番組や土曜日のサタデイいなべーションに加え、いなべエフエムといなべ市が共働して発信していく、いなべ市の魅力発信番組を充実させていきたい

## 問5 その他、いなべ市の魅力発信についてご意見があれば、ご自由にご記入ください。

---

- ・いなべ市は、自然と人の魅力にあふれたまちだと感じている。ただ、市内で様々な買い物が完結できるか、病院や学校・福祉施設は近くにあるかを考えると、なかなか難しい地域もある。こうした環境の充実・情報発信も重要なのではないか。  
また、まちづくりに関して、個人的に感銘を受けた事例が、徳島県神山町にある。神山町は元々過疎の山間地域であるが、光ファイバー網が整備され、都心と変わらない仕事のできる環境を整えたことから、IT系ベンチャー企業が相次いでサテライトオフィスを開いたと聞いている。アーティストを支援する仕組みづくり、移住者の受け入れなどにも成功しており、「現代の田舎」として理想的な形となりつつある。三重県でも、何かできないかと考えている
- ・いなべ市からの情報提供といなべ市独自の定時放送番組をご検討いただけると幸いである。いなべ市の各部署の情報も、現在、学校給食、子育て情報、図書館情報、観光情報など放送させていただいている。  
それらに加え、例えば、市長や関係職員の出演する番組や市民が出演する番組も企画していただきたい

---

いなべ市 地方創生総合戦略策定にかかるアンケート調査  
【結果報告書】

発行：いなべ市 政策課

〒511-0293

三重県いなべ市員弁町笠田新田 111 番地

TEL 0594-74-5840

FAX 0594-74-5851

発行年月：平成 27 年 9 月

---